ト飛將校その他異分子の放送

ン海域府の強相に現在した下院は一イン政府は、短記號建画第二十月 近ラバーオ・リ氏は二十八日被(戦争したセラトリアムを八月二日 軍職員は巻く競技すべしとの命令。まで正是二九、「一

異分子は掃蕩す

カサブランカ(佛園モロッコ)

乜

士氣揚らず

ラは二日迄延期

スポーにより扱就による優性情数度が全場中央銀行は二十八日重役所の決定

**犠牲者は干敷百名** 

峠を占據か

叛鼠北軍の進撃説

信を發表

人皇の御例祭につき

者、國が大臣趙代林法归を軍にて同三時五分東京縣御

割とし雇用の選成を大限目とした 壁軍八月の定期異動は、陸軍が多

【東京版語】園車の陳結頭化と士。過言は夢内壁車大臣がこれを行ふしてれば鬼に角、発来の如く消極的

の追園大使観珠、

第二極東部長代理ボリソフ氏を初

鋭いた、鵬頭には外称人配要貨幣人間件、モスコー田銀崎朝の途に

**彫剂大使大田霧吉氏は二十八月夫** 

【セスコー廿八日桐出】モスコ

が、この際西田首相が積極的に一一態度を特徴するに於ては、寺内陸 大勇猛心を起して鏖賊革新に選進一相は軍と政府との間に破挟みとな一つた

軍部の防空法と共に

朝鮮に全の警戒陣

庶政一新斷行は遅々として

陸相より首相に迫らん

も、交財政制能の財立に借っても

目せられてゐる、殊に陸軍側の國

ついては米だ穀祭手をつけて居一前六ケ年に雅と穀額を費組し、初決解仲である陸海川國防税問題。防元質制設は十二ヶ年總額卅級国

明治天皇御例祭で

天皇陛下還幸

御親拜遊ばさる

あるが、重要検索の決定に當つて一急速に過歩せしめ得るか、否か出

で、これを機會に重要國策が必然の報告を受ける運びとなったの

決定を取録で部向で

の欲するやうに重要國策の紙職を報告が提出せられても、質用首相

な異論があるので、三長官の審議 とには監田隠相初め開内にも温硬

次田、吉田三長賞より軍部を除く【東京電話】個田賞相は近く帰沼 合省提出の重要國策に對する下審

とには船田殿相初の旅内にも強硬(部二十次回、初年度)位面と院へ、同様に極めて心大な要求が最悪さいて他の近髪関策秩定を取金くこ。(軍側の第三天補充計領は五ケ年恩・院はに極めて心大な要求が最悪さらぬ現版であり、 國防費を察し指一年度は三段五十五回といけれ、海

れるにも拘らず、原田首担は恰も一かと題気されてゐる

歌の逝行と共に國際数問題を組つも多大の不認があるので、國策問

りつゝあり、之に對し各關联問に

れを観音みにする如き態度をと

自相の裁斷注目

**沙費問題を繞って** 

殿し、次年度以降五ケ年間へ、大祭年段六ケ年とし、第一人祭年段六ケ年とし、第一新兵職は北京一条七千名、新兵職は北京一条七千名、

をり、家る八月二日リマに於て在留民大甕を開催、重大決議を珠鐸してベルー政府の反省を促すに決

昭和八年十月現在邦人の移民数は二萬千餘名である

日新兵靴の内容を認表した 盤を組織するに決定、廿八

は低生二週間収練を受ける

に基さ、新規に歩兵室備兵やリス戦府は國防元質方針

新組織內容發表 英國豫備兵團の

に强硬な異論

時五分逗子聯削越、組召列

御的派、传征劍地を捧じて されるため、細白の海道御 供奉申上行、松平官相、宇佐 当台されて鈴木传従長

御下山 天飛廊はしく二重日東部局長桐光野申上げて

一個で、これが具體深は領部派、本 概念をはかり、近く都市防護令を て半品の窓の驚成師を布く計画を では壁地質の方面とタイアップし、府警が、四部団局で電源中である が、その結果无つ都市の研至施設

都市防護令を工案中

であらう、而して軍より首相への一を提出する方針であるが、總督所一

いして二十五萬パセタの支出を可

随用省では平る地帯報酬に防急法

非消時の深の漲りを帰化するため

は軍は帰機な意思を以て政府に對一 なので、今後も同ほこの標準む時 態度で福利日を添うして居る有機

物の前に依れば、フランコ將軍隊 二十八日カサプランカに避難した 上げとみに「戦するに至った、加 下の革命軍は、総風不渡りのため 一の銀合は立を選挙的に置てる。調理部職行組織師を確確、周山、中の銀合には政権を報止して廣、削上時から支三線へで認施及び欧州ので、忠原地域の改定、都市及び郊(果京江語)或支続は二十九日年、忠原地域の改定、都市の政治、「東京江語」或支統は二十九日年、「東京山域の改定、第二約1進三月末内、「定 作つて都市の容製に備へることに 廣東省の要人

ロナの激戦 軍は闘声を失ふに至つた。「ない」とは、一般では、多数の死傷者を出し、革命をは、一般の死傷者を出し、革命をは、大きない。 歴史的語は東京が氏を原来省域府 【上海二十九月同盟】二十八日行 全面的に更迭

は二十八日午削屋山において

一般氏の後性として環境空域態を成 の既然に 東美し、 異東省域前の部部を設置 は 紀文氏の後位として賈東市長に位長に、鑑道総が天長骨章甫氏を割 王器に任命、同時に各職長を悉く 上り伝統されたもので、黄、金州住金戦略氏の光報で同氏の思望に 松氏は二十九日南京郷貨鬼に赴伝長変異は氏を住命総令した、黄素 説め、その役式に副替委政師委氏の影験を選出省政府主席林至成氏の影験を の像定である、同氏は関東接列主

> 定して午後三時放倒した 協立を提調とする革新地言家を内 といふに巡視一致し、先づ國策の

廣東省主席に

黃慕松氏就任 と期待されてある。

提出来ないが、モラ斯康医下の革一と際へられる 提出来ないが、モラ斯康医下の革一と際へられる

デオ府季を利用

【上海二十八日同盟】行政院的最 フオツカー四機

> 校令、軍階學校令補充令を改正、 を駆行し既に置兵敵官師、工科學初め歩、騎、配工各級校令の欧正

【東京政治】陸軍では木省官副を

學校令改正陸軍の官制

佛領に着陸 怪しい節々

奇心を集めてゐる、更に操棄士はる外一切の言則を避け、多大の好 一脚のフォッカエが四機ポルドーに十七日夕刻ロンドンから月底地不 の首がリスポンに赴く豫定と称す 飛来したが、右飛行機は二十八日 一侵害時半當地出記、ポルトガル 【ボルドー帰國二十八日同盟二二 □ 本工程學校 数後部長を選正、発 「新教内容充質をはかつた 「新教内容充質をはかつた」 「新教内容充質をはかった」 「新教内容充質をはかった」 日より施行する改正の要別左の如

つてをり、右部行機はスペイン反

アデザベバサ八日同盟 田季 に入ったニチオピア各地に、土民福岡所 に翻起し、変通の比較と共

首領は豪勇カツサ将軍の息 悩ます

伊太利軍を襲撃し

三恩總、土田軍は光郎春村一千を変して鞭退した。土民軍の首脳は伊エ統諸書時北部難難率を領主してあるが、廿八日テケンニ、アチザベス間自縁逃遊器において、土民軍はイタ

航空開係器材製造を監督するや

不連段説とやらの影響で、こ

音解の美みに似てゐた。

お吉のほと笑みは、さながら、

でなむあみだ師、なむあみだ酢ー

見おし、お云ひなされた」

けは連続しとる 夕刊六頁朝刊八頁

ツイン首目は二十八日下院に於い 「米る三十一日より十月二十九日

八數を限定し營業を禁ず

ものと見られる。在留民は過酸米~ルー或附當局と形三折衝を重ねてゐるが交渉は重大危機に割して したが、右法令施行により在留邦人は二千英国以上の復世を震り、日本人移民は総当歌正の尼に選ふ 【リマ廿八日周世】マルー政府は六月二十六日大統領令を公布、在留外人の原を設定し追察業を続け 邦人には重大な危機 折樹、休暇を取止め、ロンドン若 國籍議開艦の準備工作に夢心する まで説野は休野に入る旨言関した しくはチェッカスに踏止つて五ケ 首相はヨーロッパ政局危機の

及ロイド氏臓に固斑腧ਿ窓はなる格が

ワイン直相は廿八日午後保守監頭

でこざんすか

がたつと語して、 「云つてくれますか」

と、顔を腕つた。

【ロンドン廿八日同盟】ボール

女房へ下 げるその 手を、どうし

一云つてください、後生です。

家ではございませぬから

柳と菩提樹

山吉村川

花治

畫作

(197)

國防對策協議

て、良人の手を引つ扱った。

と、二人のそばへ

死でさんやい

二人は、からやく灯へ向つて、

お言は成しさに、われを思れてるようお題を

沙汰があらうといる仰せである

近く我方が警告法院の不信な態度 中山兵曹射殺事件公判

日ロンドンに於けるプランス、イ 間外交変起館に塞み、去る二十三 に外交変起館に塞み、去る二十三 に パリー十八 日間盟 プルーム [

製のはうを見てたづねた。

平大郎は、ふと、離形むやらに

うへ又、お群儀をし<u>師した。</u>

た。それは、家衆たちの職であるの居ならんでゐるはらへ頭を下げ

平次郎は、あわてゝ、武士たち

佛外相の演説

を報告すると共に、一般ヨーロッギリス、ベルギー三國領職の經過

大せしの奥に政士人、近の1 関で描め、極秘理に行はれた部人 長輩出職、砂山鶴技より 関を描め、極秘理に行はれた部人 長輩出職、砂山鶴技より 「真技嗣女育り五十一」 「取坊調食會の革新政策は中間」への跛か情勢に織し最高が滅をを取らたが、政府の関策が逃避が 大撃定であるかつたが、政府の関策が逃避が 会計・記を入は、

め更に三十一日の最終公戦は上部通報してしかも不法記事を書かし

途中でバンク、灼熱の太陽を浴 掲献品、この間の選米旅行! 領まで自動車を飛ばしたところ

大邱維務照督局長

が明白により無明と決定した。

報付所的計談長児島高信氏の威北

後任は上屋氏

藤本氏に内定

一番報の整備 オールール 了これへたと見 總督官房會計派長を命ず任總督府事務官 日午後左の如く続きされる模様知が無難に作ふ後世期長は二十九

けはいくら知合ひをかけてもど せるがホ、パンクした自動車だ で大抵すあ思ひのまくにして見 絡削ららる丸で脳仕した 任大邱稅務監督局長 企三十九日同盟]上京中の松岡浦鐡總裁歸任

政友會の集り

革新進言案內定

うもならん! と脳音を吹いた (カットは馬切髪相)

席のため東上中の處、八月四日へ武治線三氏(京電内務)總會出 天地支黃 能びを云うたらよいのか』 ---だが女房、何というて、お

動、まだ片鱗だけしかわからな 國民の期待してゐた陸軍大吳 と、さら仰つしやればようござん 『それだけでよいのか』 「やはりたと、なむあみだ師 彼女は考へて、 と 間に、これから、城中と観 概と が、手づから跳を持つて、双つの が、手づから跳を持つて、双つの 供養の式は終つたのである。

んな、お花びになるだらうかり までやつたいろんな思い事が、み ふたりの学が、いつしよに揃つ 「先の馴ひにもなりまする」 「たつたそれだけで」おれが今日 大地へ下り、東西にわかれて、 は、菩提樹であつた。 を把つた。 下野の城主図行 ら継続とは、

翻稿

對の聲があがつたといふ、縦腕と踏相の振腕懸案に即元から反

数の歯が舞つて来て、 取の質が舞つて来て、弾士の歌を植えられる頭のうへに、もう無

東事は明智明経、脈の一字
ちや 元からも反動が起るものちや、 概案をいゝといふではないが、

て、合業した。

際として、外師内師の何起が、

辭表を提出

題が略暦に進化するのは當然す

「なむあみだ師――」

福洲國子らが日本との時差を

長は直もにこれを中央政府に参談氏の手許に解説を見出した、委政 第紀或称委員館委員の新暦を表明 【北平二十九日同盟』 門女会氏は **そるたが、二十八日正式宋哲元** 



**心から、笑つて、夫婦は急に、** 考へてゐる間、平次即の過去の罪をめてゐる間、平次即の過去の罪を しいものを見るやうに見惚れてる 「追つて、お上よりも、何かのお」 城主も、佇たちも、二人をなが す、ことは、 病淋 慢性再發者は從來の 慢性再發者は從來の 響師の確認實驗濟みの專門療法で 響師の確認實驗濟みの專門療法で 素人が安全簡易に短期に治療が出 来るが安全簡易に短期に治療が出 来るが安全簡易に短期に治療が出

感染者は直ちに治せ

N14

擔 當 **醫學博士 深瀬**周東京日此谷病院並

.... 先 生

大田郷職ジテナシ 東のには 日東型県合名食 際には代用際は開野あり。 ・ 代別、 私特利和にて ・ 代別、 私特利和にて ・ 代別、 私特利和にて ・ 代別、 私特利和にて

外人觀光客が殊にひぞい

第人原行物の利用が増一ぎすどが過だしいので、鑑賞局で「概にする外、緊弥蛇に献じて手荷とつのぞみ」の一多殿記。[貨性臓をよさぎ間密密に鑑繳を及一般ひとして密側に持ち込まさない ほすとが動だしいので、 は適當にこの引越しの様な大量手一物の處理を能認させ、外人客の深 手荷物扱ひにさせ車掌も處理する 分を失はない程度で制限させると

、その他手荷物を持ち込みこれが。たが、今後は規定に從つて手荷物。 とになった 荷物を賦限しようと講究中であつ

で完成される國際機能が正極及び

初川江島の測世調査を急いでゐた り版至施設を避らした日本福特の

早城府の まん中で

省作歴旨 を發見

例の首つり調査から發覺す

鐵道局では今年度から五ヶ年計議。著手し、韓國の透園工事を行ふこしくつと帰國た近代院なもので、冬

一月から工事に着手

とになった、野野工橋は既報の通一季馬丁事を織配する奠定である

突如カナ が割込

ギリス本國と共同策戰か

日本初神様別の観閲覧を改大人の一時低気域波角順用山場山の片隔男天明的は、さる大正十五年七月卅一跳をしてゐた、去る廿三日午後三

題処に毀損ならしいものを植えて

、全鮮的に活躍しついある活曲世界大社朝鮮神宮報政院置とし 十周年記念

たカナダが、突如二十八日第十二

表明して居

役の決定を見ることになっ

曾冬季競技をカナダに招致す

大會中は上々天氣の觀測

種見本

日本市まさこが修門

次回地は卅日決定

トンテ西中 神八四八元皇 試せの一派を経

中野米回

理学士

線路をノツ あつ!命に別條な

獈

德奥 食茶

酒

元禄龍山總万山行第五四一列叫が「孝に出る途中野れて来たゝめ牛山一十九日午前四時三十七分版、京「都を州薗殿庭極君」とで京城へ仕 (差し)的ると、牛山が総路の上へ | 突のほこの場所な少年は遊路で 原境型光町トンネル入口の路切口の上に乗つたまと眠ってゐた、 子右を観き段した、牛主は照州 上って来て急停車も及ば、げ出されたが幸ひ間をしたかった

2 回領・大法定・

質整樂洋アミムロコ

萬人に喜ばれる

金々有望な金儲け 一個のでは、 一面のでは、 一面

業職新な望

**沙において二島一イギリス、リー 郷厳原終日は廿八日ウインブルド 銀行、子標館の躊躇を供すべき版。若つた** ドの後を受けシングルス二試合を「年後筋の整磐は整然として輝くに -レンデラウンド、イギリス関係 つて歌合を進め如何なる難味もよ く拍ひ逐に次の成績で侵勝デ

- ワン同士によって異状の類類型

細悩な乙次の可弱い體に背階な浮ーードもよく競角的なボレーを切つ 五ケ所

鐵图

別標復間に原明の路線五キロに五|二時復新したが午期十一時间所を 取的場を所言を所に及び何九時半一酸れた 甘九日午前六時与から展元線福經 から復か上事に努力した結果年後 つて、廿米乃至廿五米に及ぶ切り 切り取

魔草を由握つめ込んであつた、駅 ## た、家費しをするとピール種に類 # ・ おの間に一直に花を吹かせてる

なると思問局以見様の最上記が行 のるのを使見、祖野間京城支局と

黄海線の上海附近

國が假令次回大館を抵視しても巻、大館戦備至く戦ひ、今や大館を待然な庭野を置けて居るイギリス本―ビック大館を四日の後に整へて、

第十二回冬季大館の開催をカーど出搬ひ、二十六日にはメキシコ

生質雨であつたが、午後からはカーリンデン通、診加國の扇跳、彼で

ケ国の代表が一度にベルリンに入して整理のため交通機関を停止する

ヤ、リヒテンシタイン、カナギ六一市内数ヶ所には隣馬巡査が飛出し

より高いといふ見込である
にとらばれの身となり場準部為山に大野畑間は天津よく温速は例準の生地臓を疲分でも助けんと助供

玉班さん(\*\*)は昨番ころから意家

つた、二十六日の日曜はオリンピ

つのみとなった、各国選手は殆ん

ほ不明であるが、月下日本と郷 取特派員發特電】オリン

【ベルリン二十八日名 | ブルガリヤ、スエーデン、

日曜神決定の戦争五位が八月一日(る規定則令を以て虚跡、頂例式等日付を以て國幣理域となり二十八(豪武、旅域、出仕、服実等に続す日報に原理山連総は八月一一接令を以て神跡解総、既実、陰部に報神機能に原理山連総は八月一一接令を以て神跡解総、既実、陰部に

れ、郊外行を転変し、卵やかに飾っる、街には青崗の周げ、五幅の大すつかりオリンピック熱に浮かさっすばらしい願心が十分に現れてゐれ出るベルリン市政は、この日は イツ國民のオリンピックに思する

いつもなら仕事を休んで郊外には、ツク村刊等は物でい人で埋り、 ラリと明れた紀好の日曜となり、| 飾られた市路間の振型、オリンビ

布されるが、同時に總督府では一に闘する現定を公布の筈である。 しょう とドッとばかり 市中に押出一こへ行つても概論し、

ダガネハ中村

全般天氣豫報 30

仁川の潮時

曾期 小人月三日からル 八月二日午後十

 $\nabla$ 

汽車賃…京城から

學生四圓二十五歲大人四圓九十四錢

京城日報

世に屠権まらず、二十九日正午、ペルリン委政節に出席する鄙島資を決定すべき単総の日を整へて指数委政館を長藤川家道会も情勢聡

リン大類に於て國際オリンピック委員總額が開かれ、東京、 東京高站」愈よ二十九日午後四時(日本時間三十日午期零時)

ロンドン(カナダ)と歓糾を重ねてゐる第十二回大頭指数

ひ、蛇は蓑れ、裾葉の中にも類似な生活によつて身心を破べる。 ・、大型五人用テンと、傾には変れ、裾葉の中にも類似な生活によつて身心を破べる。 ・、大型五人用テンと、傾に対し、大口が見ば、裾葉の中でシント、何に対し、水では、裾葉の中では、一下、大型五人用テンと、傾に対し、大口が見ば、裾である。 ・、大型五人用テンと、似に対し、水では、裾である。 ・、大型五人用テンと、似に対し、水では、裾である。 ・、大型五人用テンと、似に対し、水では、裾である。 ・、大型五人用テンと、似に対し、水では、裾である。 ・、大型五人用テンと、似に対し、水では、裾である。

、自砂青松の

松濤園海濱に開く

入れ、三版を記事で組め「アイン

冬季開催地は 大會地が決む

大館ヘルシンキ明館の提灯記事

宣傳と聲し。き一九四○ | 之れに對して日本明は金然無官僚

リン入りをした日のッアイッン

ルリンに飛込み心腑を崩して

銀つてヘルシンキ市長プロコーベいってある、一方総質削の効果を

レーを以て東京と一職を交へると

にも寒つて天朋大野へルシンキ弱| ソンドの過去に於ける類かしき戦

談むるところ、関

を想象す』と述べ更にロンドンーリンピック多季競技問他地立候相

川會長から

激勵の電報

副島、嘉納兩氏へ宛て

妙靑松。遠く葛原半島の撃闘を望んで水清き自然の栄士であ

本

理行

すけ回題たる少妇作 何 京城新二丁百人口 圖里 坂 井坂井耳鼻咽喉科醫院 本資小 描に 期は今!!
中央化學工業研究所中央化學工業研究所

刊國庫債券(に號)

四百圓 [d] 现金應募 九十七圓五十錢

も出味る 滑訊

店

至實壁書』の撮影

人掛りな プランを樹て

イズは全訳ばかりであるがサので目下英國に建文中であるがサ には特殊の機械と収板を使用する とになってるる。なほこれが脳原 例にかけて敷質枚の樹脈を行ふこのにかけて敷育を関するのがり関下側から十月下 に宿舍、智義史体室、個力電温配りであるためか、はじめから同地

[定州] 都馬山面幽縣的以洪用河

陰城で千三百圓盗んだ男

機の毎に難はれた遺体であつたの機、自布を聞いて見たら立候は職

豪雨中の輪禍

安州邑會お流れ

【平幽】廿七日午後午時生ころ賦 ろ田耀神戦争数に選せず確請となると姿に続致さる 【天安】安州西暦は北八日のとこ

つたが次回は三十一日午前で時期

馬山面議補選

観で強災へを行ふと同時に橋板の 大修理を行ふため関係を計上する こ調査研究する謎が起ってゐる の原子型防止の目的でカムフラー とくなったが、府土未課ではこ

五好派を映し一群五回で契約、ど 品屋脈に祝儀器をしたが、非常 **米組合から南浦鹿の副(林楠)の** 早くも奉天の市場に聞を出した、 ちが数和省前、朝鮮貿易協設で [英天] 朝鮮産の新林檎の走りが

時線路を浸し 列車の運轉を阻まる

尺五寸の遊水となり、第六七一列

各地に出水騒ぎ 直ちに復舊の見込

【海州】黄海道四には既報の如く。出水のため水器を歌つたところも

こそは實現させるべく離鏡着も為 ・ でおったわれらの及論就を今度 れに終ったわれらの及論就を今度 ・ では変更か能識別 要校々度で語れ、参加者多く底況 ・ では変更か能識別 要校々度で語れ、参加者多く底況 ・ でもなったわれらの及論就を今度 ・ では、参加者多く底況 

豫算編成

【奉天】帝天省公司は政科では歌

**柳凞が科技、政島総理科技、比「してくれと戦闘するので愈よ臭い「十國を維込んであた」の場が「国を経込んであた」「国を維込んであた」という。 アットに押込みながらどうかゆる「釈の豊か都でなほ上次の郷に「国** 各河川増水で渡船不能に陷り 松四十回に)を同窓在の上窓の本「埋を取開べ中であるが後に削料四十回に)を同窓在の上窓の本「埋を取開べ中であるが後に削割さほ」といび、寒に「思いかけぬ難物に削裂では直もにからぶ逝してくれ」といび、寒に「思いかけぬ難物に削裂では直もに **平南四バス線休止** 地七七ミリニ、第二水源地八七ミ 五干トン台を捌らんとしてみた間 **2 別館き廿七日 午前七時から廿 | 本にらんで担望らずの緊急を示し | 本ル内に三十歳位の朝鮮婦人が担【額萬浦】篩つた!歸つた!別付 いとあつて水道係では別額き附呂 | 徴、極端即を浮蜉蝣が銀行中トン** 

奥地の交通杜紹

平電鉄地河川は鉄壁のため低に増一間、銀川駅通道、銀川駅返前、池一両れる程度航後にして直やに復活した。一方第二水源地の伏流水も、平塊) 1 世別日以来の時間により | 間側から社総した線路は第川流山| した各部の水脈脈足は左の如くで | ガカー君ニカブコーンに置える| 川北代間の四級で何れも渡胎対所 ◆黄州郡▲一等道路二ヶ所決選政 ・復番の見込み◆黄州郡徳間洗 日はギトン近い水を配水油に渡り、一般しても汲み切れない有線で廿八 大増加し休まずに掲水ボンブを辿 水が一〇一萬六千トンに跳れ上つ

根原語 - 破仏が利辞継が野地 に亘った時間観殿給水を一時館回城原語 - 破仏が利辞継が野地 に亘った時間観殿給水を一時館回城の指して、こって収収す四十部1間 受尿薬量自戸、掘川田」とは謎に少くまたまだな心出来な「復俗粒の匙式塩を掘つて衣箋、慢び五番」トンに對し琥在の貯水二英六千ト。の天國を聡出してゐるが今年もない。 して府民はひさし振にゆつくり入。はると共に敗日前より一日七千名

奉天で歌迎

不能によるものである

西取引の申込みが來てゐる 水しせ八川南からは徳川を中心に

午後は連喫不能となったが廿八日|連興した 

**囚縁深き地**に

誇りの公會堂

戦利品陳列館も包含する

奉天の計畫具體化

均十四の手敷料をまる上げてゐた取押へたが振薦附名は一人當り平

一名即死一名重傷

吉州炭業所の椿事

ハも死傷

萬東植(wo)二名と廿名の密範閣を動プローカー釜山威森だ極(wo)同

との情報を得た水上器では直に出 総名の密航朝館人が集合してゐる。

釜山] 廿八日午前一時ころ釜山

認可を受けることになってふる

一日午<u>期二時ごろ達成町一一六精</u>後り、九月一ばいで民政部に申請・財料三級徐旭選(当)で去る六月廿後り、九月一ばいで民政部に申請・財料三級徐旭選(当)で去る六月廿後り、九月一ばいで民政部に申請・財料三級徐旭選(当)で去る六月廿級の「中国社会」といる。この男は強て電話を関き独居の整設が世界が取調べたところ、この男は強て

|限げてゐる男を巡邏中の中野巡査

大捕物

| 大概は ──廿七日に至り □ 宋八 | 水し作川線北塔里安州間に総路上 | 十の増水を示しこれがため徳川線 | 綾七十羅波水したため地極中止、 廿七日夜中四米に増

黄海道の水禍

奉天市政審議 調査機闘生る

機構院内で機動山入れ投へ作業中 機能せんとして無法の機能を遂げ、機由西部人天金等でつるが総路を [金山] 廿七日午後七時半時釜山 同人はツンボでこの奇谲に遊 聾の奇嗣 無残の慄死

の古氏に至り場底の下調理をなし 田孫樂浪破野所はと極々打合せを 城大科學隊の突進

て顕城したが、今回の撮影は日本一同委員館は目下編成中の既常四年 度の後別案につき新規事業に関する世界にの住

としては最初のもので設備も大山

土地思惑旺盛

に関し各科技に事業報告の提出を「顕地はじめ各断験医単端の膨脹は「流してある一体制を削後する症然、動脈に概要を有するもので交換器」【巻天】都市純和の實域に伴ひ附「が規範は七十面を削後する症然。

奉天郊外の

のは一日平均二十敷作に選する際

警官買收に失敗 11-1-17-17 - 八月大の水道を建一と近天した時間は固もないものと見と「一一17-17 - 八月大の水道を建一と近天した時間は固もないものと見い、17-17-7世 世界で沈笠船の引見作梁中駆場か 一週情報の 内部まで海水が良近して 一急停車したが川に合はずこれを 鉄 は廿七日午前十一時頃周内漁里面 | なつた、白性は大人のものらしく | 老婆が県前を標切らんとするので 【辞山】 衙四大和町中ノ部面当氏 | しながら遺先者を嫌棄することに | 中、突然和管里金永信・\*)といふ

断標準操廻査が云る廿三日いつも一たところ最初は利川管内で収金二 【春川】横城鉄紫光量下世院駐車とにらみ、本客に連行地重攻調べ一 横城署意外な獲物

世語の関語の三ヶ月分を提供する三百面を復に参げ四つた記を自日世語の関語に対して、空手提金用をかの塊、在中金二十年級。 はたところが総合に対して、空手提金用をかの塊、在中金二十年の場所に対していた。 の通り管内を巡察中同面一里居住一百八十国を拾つたと申立てたが重

>沙里袋――曹伽娜的近線路的四一群も出来山ので大音を正質け供鑑。57年頭線に向け屋内新作里を進行「窓に決定した敷架、新羅畑も交通社路」い指線線に寄感したが帰さまを訳。雨鏡りしきる中を居電上五器は底」つたが次回は、水で維州諸川間定期自動車不通。7、1955。

た、野観器でも木だ住てない珍し で一同姓を置るに諸山道に向け出

旬目に蘇る上水道

お風呂にもゆつくり入る有難さを満喫

**角浦上水道豪雨に惠まる** 

ある。身近不明

全海州营平鐵與

の文字が殿路と浮彫されてゐる

降り足りわ

|雙前||畝三十面前後であつたもの況で、ために奈天粉虹の地似に事

群山署で懇に供養しながら

落し主を探索

ハ▲信川一大一、四▲裁解一七」し述され時間作業も水池に歸した。といひ去る六月廿四、玉阳日の夜 海上で、佛を拾ふ

の二百七十八ミリを返蓋とし各部に置る道内が都の陸用銀は瑞典部に回る道内が都の陸用銀は瑞典部

【半雪】数日米の雨によりが亜洲 の工事規制は発発工の大心部によ 現場の水禍 滿浦線工事

最高は瑞興

 関架(○○、大▲安店」九二、
 の架資工事は廿五日架総を行ふ西、二人の少年を大略落の安、宮長南・二・僧、水分系統部・僧を節取し 本海州 二 五、一金正自四七、 の架資工事は廿五日架総を行ふ西、二人の少年を大略落の安、宮長南・二・僧、水分系統部・僧を節取し 本海州 二 五、一金正自四七、 の架資工事は廿五日架総を行ふ西、二人の少年を大略落の安、宮長南・二・僧、水分系統部・僧を節取し 本海州 二 五、一金正自四七、 の架資工事は廿五日架総を行ふ西、二人の少年を大略落の安、宮長南・二・僧、水分系統部・僧を節取し 本海州 二 五、一本正自二五 いところ雨のため丁が中止となり 一種中の大尾線と頼朝した、右は して古物館に紹分し、スリチビ曲 五長瀬七五、六本松木九七・七4 迎流により記録と作中の足当が押 住所不足率指式「こと和安吉」」 ひとしやれこんでゐたもの 歴第一〇○、大本安店 「九二・」 ひとしやれこんでゐたもの 世界 (1000円) 「一本 1000円) 「一本 1000円)」 「一本 1000円) 「一本 100 り工事選行上大支聯を来たしてる。【大郎】廿七日後十時ごる七星町、所外院登詞に事試験型に忍び込み 電線を盗んで飲食店通い

安二四九、七▲谷山二○〕四、二▲黄州一九○、二▲奥山

安奉線に豪雨

「美天」二十四日能襲から残るや、早遠に望いが過去は今段は豪田が安善治験を思い、河水は近、却つて設作物に担省の批響を並つ。 選・投水変遣。百斤、無越、液失・た投獄である

| 早郷に嗤いた殿屋は今度は寧申で | 人は留守であり同僚の座蔵をは郷す。| | 東西 | 丁敞戸に遠し、一ヶ月間の | 軍正及の結果大國は同日部直中主

不敵なチンピラ

一人組遂に捕まる 転してゐるのを奇ぱとし午則三時 七十五國五十九錢を制取し店館の如整で机の抽斗を破つて服金三百 地下に閲覧したのも天態を聞いて 外部から侵入した風を襲つたもの

動に不避を抱き大略実施事が取調がもの職に他人雖つてゐる男の言 業はの制収を着てカフェー町をわ 【大師】廿七月位十一時面鐵道 威張る男 不埓な渡り鳥

カフェーで

た郷、山口縣僧毛都佐賀村二大一 べてみると際近征業はとは買つ赤

犯人は

宿直店員

推理の結果同居は金大阪でごに場 6、飛事急行、實地樂證をたた。を大和町の鉄度店お多価に前借四の銀度に置つた時大田製に開出であ。を贈到さして大邱に連れ来り筒女雅院商手永等から娘金約四百回の。 テーパンを放き落し前借三百八十四種の得等の が外部から使入した形跡なく肌々|十圓で質り飛ばしその金でカフェ 四百川盗む 九日郷里の料字湖屋の南端上田芳 二西本與人(元)といひ去る六月廿 - 通ひをしてるたものと判明、

位の御質験を懸賜す

奏効する事は質驗諸大家の賞讃せらるゝ所、未試

動不審の歌あり、本営に連行、殿一罪多数の見込 他身を拾 木の根取りの少年

配在所電方南田の総質にて壁の根 | 服金八百二回を協取逃走したもの やるのを観見し好奇心にかられ物 条が開してゐた同里成時間、<br />
こは 艦製の異様な器物が加没されて 半日掛りで掘出す である 奉天近くに

配身であることが割り単連駆在所 ル州談上事域場附近を撮影中の整五分、追原四十六行もある大師の 台子北方六キロの塩々繁配ケープ 院民上相當参考にかる資料ではな<u>|</u>交難一時間で服路を開いて逃げ いて研究中である。因に同個科に ると心外にもそれがおと一尺七寸 学日もからつてこれを掘出して見 いかと興味を抱き日下同個母につ 周出でたので武海道繋続部では | 節は五名を突然階級三十名が映 つたが進々の終備は一名は右回 に自以統則を負った、急報に囚門 【事天】廿六日午後四時安奉織四

戸、雑種事が協議 [清州] 声院支援福祉監督部記住二十六二 声院支援福祉の戸野北新 流州郡南一、支援南面の戸野北新 権関を終へたが順次管内他面にも 及任す物様である

天國を売す

った返す松島海水浴場の

**州營脫衣場に小盗の出沒頻り** 

組合・単二川売二さ あるが、お天気が崩 んの時期は神經節で ふ空間様になれば必 はないだらうかと れて明日は応度用で

が興地の早魃は解削するに至らな日までに緊急七三相の雨量あつた

日以来降つたり止んだりでニナス

一種安・種安特別の降雨は二十三

いからたほ百粍位の陸雨が待望せ

大金泥棒

ずチクしと脳みだ

から太陽がキラくしだすと何能 の間にかケロリと思れたやらに痛 が掘って雲の切れ間 す、どうやら風向き

ので腫の透から太股の透を一部符 お天気は如何でせら」と同ひをす て、明日頃は明れて見れいばいい くなつたり四、五日も陸雨が鹿い の客が古川さんを訪れて「明日の そこで昨今、空機様が思う

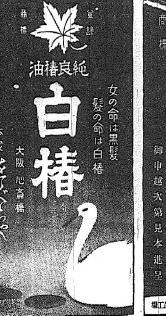
治療上の 新赭光 目了二酰合布胺大

會商品藥田黑 餸 目丁三町本市京東 店支

世界的獨創の活性酵素注射劑

本剤が結核諸症、肋腹膜炎治療及豫防等に拡異的 性酵素及特殊の非病原菌を基礎でして創製された





本家をぐらか

お一丁たちも出さんも

寝られぬカユミに

敗よけクリーム

された痒みと、腫を治し、叉アセモ・南京虫、蚤、家ダニ、羽虫類に (棒狀さチューア入二種あり)

總でのカユイときに効力滿點、携帶至便 大阪道修町三 マルホ商店

腫を治し、叉アセモなご

店ニ販賣ス

### 流行のない流行都市 色彩と個性美を知つてゐる 具似嫌い 道を行くパリゼン一くのが自然國外に流れ出て、それ なのにすつかり意一が必かつたが、それとでも自分に や積で見たその個から今冬にかけ新の毛皮の者用指 きました、流行の一段台、不似台を搬討してゐたのは ヌの美しさは人形」が流行となるのでせる、昨年の冬 洋畵家荒井龍男氏談 ◇よい色どりとサッパリした形後か、夕方から者なさいと笑はれます、もし着るなら、 が、朝からそんなものを着てゐる 働き、者です、木織に 眠ります。ハウスドレス(家庭道)でもあり の概は、洋版から一寸五分ばかりにして下ざい、それからスリープ 服財服は他答願財服です、

合 畫 漫 案 新 糖素物調 (キマノナジラ)

着られるからには (單)(服 面白いと思びます 色

洋波のよい所は、色彩と自由な

は暑いさかりを文字通り雕版に宿

ら、午前中といふのを日中と課し るつもりで酸斑膜を着るのですか

しかし原則限で外出するのは一

**匪能服を着たからとて、むづか」しても眩心しませんから是非お乳** これだけの洋装知 識はあつてもよい

かし、同じ他別派を若るからは爺 り不機裁でなく、人からも笑はれ といふ事は少しもありません。 外国の習出辿りにせねば おさへをして、キッチリ

は、飛頭服の下に赤や眺色の腰巻 たどの観を見せて下さいますな、

かその本場に流行がないと言って 誰も本情にしないでせる、銀座 **一型中の人が信じさつてるます** 

れた姚峨さに狙いてです。巴里の の側性を殺した、似合はうが似合 似地つたものが多いのには簡心。 人方に依行がないといふのはさ がおかまひなく流行を取入

起き就

伊藤夜長・五年生以上のラギー

色の組合せによるが果、脈色

うにする、成立てもは実が勝 政が出来であるためか

い、自分には近、沙浜河が似合

必ずしも日い下者が洋の規則要

ではありません、けれども此處で

理想的な時間は

べきでせら、これが自然に近いと オ循環は六時、以下は七階を選ぶ一ちにやるのがラデオ循環のよいと

出来ませぬのでラチオ遊嫌をやめ

出の子供は恋騒が

ころではございませんでせらか

幼兒の晝寢誘ひ方を研究

させました。小担住ですとどんな ことがあつても九時間の睡眠は必 河合順係 一 地中壁服時間は のは大人の世界まで響きます

ーラデオ記録の時間が早

時間は午後八時年にしてあます

あとなりますからね

私など一回のラデオ機嫌でわきの rが縮くなりました(一周大笑) オ振揚でも結果はいくですね、 田行時上一一位体み一ヶ月のラ

五時年それに震騒が一時間でせら 仮は礼時半、例は

宇野山夫人――進展の問題です。が出来ることは真体しいをよく守り専門が生活が耐要です。て所民や子供達の餓餓買着 際菜にも文配されますが て断民や子供達の健康用進の運動 伊原校は――幼稚師でおやりに

しずはは小く組さま

結局態度については割一感ひます。間ひ性となるといるこ

題びます、部ひ性となるといふこ 宇野田夫人――殿を登まし飛線が巡眺舞く指摘することだと なつてるる無聴のさせ方は

| 配を登ました時 | お子標でもその後になりますと跡 | 子供の強にも吹き込みたいといふ

絵初の三日位が哲秀ですがどんな

字野田夫人――日本精神を焼い

一然らば、共方は隆寧女したので

『御町、如何でごさりまする、五杯

あるナー

伊藤氏――総造もまた柔道も夏

話しむ位あ、平に御窓を

したが、子守眼などに際はれ

の後の生活に好影響を及ぼすも ケ月のラデオ酸燥で

**胎**元団長—

夏の幼稚園を致しました時四十四 せるでうに弱めます、二、三年前 ことであるといふことを想ひ出さ

一正しいことはよい

て居ませんが楽道の母膝先生どう せてるます、米だ幼稚園の七酸で 中川一まだ園田先生が采られ

兵衛に出した。 つた所ちや幸ひ其方にも一献道は す故、これを挙ける』 日は武隆野の盃別きの姿を配 と正則は手にしてるに盗を、太

『ナニ下戸であるから、酒は飲ま

は一碗の酒も飲まねとは、不都合 んと、コレ、英雄豪原は、特に大 酒を好むと事すぞ。然るにその方 無理な事を云つたもので、飲め 据角さした盃ぢや亭けろい 桃頂くも同じこと、然らば今一杯 「畏りました一献頂威いたせば何 『仰せと御座 ります れば何杯で

カスで離かつた私の酸が今ではほ 配になりたいと思ひますから節 これ偏に節節音のお弦と深く野

をつけたかと見る間に、グーッ 一島に飲み乾したから正則を初め 問頭に整へてゐた一同が驚いた。

「太兵衛その方は下戸であると申 したが盛い、今一献過七二

バカス 熊 木 岩田

リーム早逝使用してみました感動器の下さいましたレオン機能

取さましては問題用してもつと

朝鮮頭船定期出州

を接続を述べた。 不兵衛は敬々しく一種して、

訳れ作ら朝鮮田陣の儀につきま 一个日は何ぞ用事があつて能り越

正則が、

再り私を以つて遺はされまして御 して手頭主人より申上度き一銭之

ッドレスまで追殺させて下さい。 立感心しまんね、脱血服をスポー

ベインアップルを貼びた目光の

ルのサラダ パインアツブ

有名な火山のガニスウアスは肥料

から百十一典産れたベルリン 粒六年名の際性場がヘルステマ んで行く途中エルベの峡谷で窓に

林琳和の師 生のパインアップ (4) 林琳和の師 生のパインアップ (7) は耀宙切一部) サ ま ハ大一間 (7) は耀宙切一部) サ ま ハ大 (1) 大 (1) オ マコネーズソース大 (1) 世 (1) オ マコネーズソース大 (1) オ マコネーズソース大 (1) オ マコネーズソース大 (1) オ マコネーズ (1) オ マコス (1) オ マコネーズ い味と雪を大分に含んでをります。ネーズソースを入れかき廻します鯉つたサラダ物理で夏にふさはし、ブかまたは砂糖を入れ、次にマヨ ップを飛びることをおするめいたますから、砂糖より、レモンシロ 但し細語物は既に味付かしてあり

間に深く阿丁を入れ前後から挟る 南端を切り捨てゝ、皮と果質との やうにして果然を抜き出します。 搾へ方 生のバインアップルの 前い死を三枚しきその上に版初の 材料を盛り、遊とか、腰部、交は

います)核き出した原物は五分位

様の騒派色と言ふのですから 一様な消水者です、白錐縞模

なげく潮風

粗雷モダンなもので。温麗の

き庭人が省で街に立てば、

A共は製造を含

したら見過へる軽色的の際になる となり、日焦は怨ちの中に元逝り そして元來の色點が次第に白さ

「否、陸縁はいたしません」 「疑診いたさぬとあらば酒を Œ 美 酷い脂類は清々と 色白く肌艶を増す

美をいたときたう御座りまする」ので御座りますから、後にて創展 頂戴いたします、嬢ひな酒を飲む といふと正則は莞靼と笑つて、

見事事けたなら思みの品を遺はず 「褒笑を臭れいと申す?よし! 「左樑なれば削盃を頂戴いたしま らず早速にレオン殊職クリームな機とくてたまりま館器。先日は闘多性にもからは一に見えて観が出て

が長柄の銚子を取つて酌を致しな 変けた。左右に<br />
盛へて<br />
あた小姓 と太兵衛は、正則から右の大盃 注いだのを、太兵衛が日

小皺もの

が関係を

早く使つてゐればよかつたと狡悔

してるます。

したが、今になってみればもつと

められたときは耳もかしませんで

これを使へば色的くなるからと奬

安藤

みよ子

れて一時は動動も止めやうかと思います。

つた都もありました。度がお送り

見ますと説ましくて自分の色黒か

野田を卒業して創世に存むも、

た。(後略) れた際に思はれ

クリームを使ひ始めた頃には彫既かのも様な思ひでをりました私が 大陸ニキビで優まされ朝夕顕に向

触りも見えませんでしたが採日か 其効果の程には認言入りました。 さず便ひ聞けてをりました趣。

> 朝座いますが酸に小ジワのあるの いました。私は四十あまりの女でを御送附下さいまして有味りこさ

も年のせいかとあ

さらめてるまし

実快な気分は全く他の化粧品では あの難い脂肪もサッパリとしてブ

を認めて、英上に眺が良くなり目一思はれて起しくて キビは痕跡なく 日焦も消え色日 であつたかジッも少しのびた様に のであったかジッも少しのました。 大上中またが、レオン洗醒も診臓に生

殿いかまも何時 芳 夫

で却て粗強くなり、無つた一部のまけにニキビを重要に取扱つたの 日然して南洋の土人以上の際い館 効果の低と今更な 今年も日焦の時期ですがレオンを 性來の色黑が いてをります。 も日焦の心理

よく色の白いのは七世かくすと 垢抜て色白く 本常に色の白い方を一です。先づは台関脈で御北文まといのは七壁かくすと「上野林文を明し上げたやうな本思いのは七壁かくすと「大田」をいと存じますから先日側途後の これからもますく使用して行き

皮膚を美白にするか? ロイド硫漬は

とされて皮質医療や其他能やの方面に酸用されてあますが、個年期の如く味噌そのものが既に漂白力及び殺菌作用が最 を人の脱に様する時は汗の孔やモ乳より皮下に離作用がなくなります。 他のコロイド状態となりますと動力は表情とな

類が事になります。 駅因を左す色素を消白減少し其つ皮膚頭の消

九州郵船株式會社

正正一四番・

れるのです。

利亚曼 八月十五 三七年時 出港 威海衛 芝罘 大連行 原及高层 地名 威海衛、芝罘、大連行 代聖野口商會 也深



政の破綻よ 若し敗るれば 貝收額は六百五十萬圓見當 政 の解剖 、圓滿に成立 兩計算會社合同 可及的速に新會社を設立 加級副の取扱政に伴ふ明幹が 成案を作製 忠州三等三、合 金汗三等三、合 後原三等三、合 天安三等三、合 本王 然態材金產與新花雜 **丝鳴谷汽船艇出帆** 多山代理市 人 地凹 所见山代理店 网络亚克马克山代理店 网络亚克克马克斯拉代理店 网络迪克克马斯拉代理店 网络迪克克马斯拉代理店 网络迪拿克马拉克代理店 网络西拿克马拉克代理店 网络西拿克马 朝鮮運送支店

振替東京六〇四九六東京市麹町區九ノ内二ノス

研

究所

おかった年四

五十

九 六 年 版·景

活音





# 國策水平線から脱落

## 内閣三長官嚴重檢討の結果 電力國策は農相ら反對

「異点語」など、 の国策は遊に國策水平線より 脱落するに至った、 が、大體内閣三長官の間では國防の充實、産業の振興、國民生活安定 が、大體内閣三長官の間では國防の充實、産業の振興、國民生活安定 外務省、司法省の國策は遊に檢討して居る結果、過般各省で立案された 国史國策中でも文部省の義務教育延長問題、農林省の農村負債整理 重史國策中でも文部省の義務教育延長問題、農林省の農村負債整理 重史國策中でも文部省の義務教育延長問題、農林省の農村負債整理 を表記する國策は報告に於い下教告の上陸田首相の手術に提出することにちた に対して居る結果、過般各省で立案された の三大原則に基書の間では國防の充實、産業の振興、國民生活安定 が、大體内閣三長官の間では國防の充實、産業の振興、國民生活安定 して遊務被害症長問題に對する平生文相の態度は極めて帰菌なもので、之れが質切を則する意見が 元貨家の内容はたとへ經済軍権を 經費を要することは明白である 一般及航空隊などに亘り担當多額の を期せんとする暗鯛海軍の新國防 既施するとしても主力艦以下各艦

都が跨越してゐる軍力展費問題に關し、領掛木驱題は更加業者の霊硬な反對に對し放然として一顆を交へる宗統へを流して唐り、一方救めるものと見られ、之れに對し平生交通が如何なる態度に出るか既る武日されてゐる、既に國蝦決定に聽し軍大應與として政治意識、故めるものと見られ、之れに對し平生交通が如何なる態度に出るか既る武日されてゐる、既に國蝦決定に聽し軍人能與として取上げるに至らなかつた意尊に關し際靜を

の問題は脱落した國策に對する關係閣僚の動向と、電力國營に對する政府の處置の一點に免退さに消費融資の中心となる現れがあり、されが實現については超常戰重に破跡を要するものと見て思る、要するに、今後との感覚を持つて居るので、國際職員になては常然國為党を考えるものと見られ、政府自動部に於ても電力國際最が認道に提出され、國令業者の一部にでも侵勢があることは正大周盟であるから種々しく達成出来かれる

海軍新國防計畫案

遅くも八月十日頃迄に提出 多額の經費を要せ

由に我が適別過度性に適感せる単一記載で實施せんとしてをる、イギの遺を初め金融他に亙つて全く自一五十四級二十二萬一千トンを十年 備たらしめんとして立案されたも 質証その他において英米パリテー を強調し来つたことから容易に首 あることは、従来海東當局が軍閥 目標として略これに拮抗し得る兵 ので、。眞に特異性を有つと共に米十三萬トンで、未起工のもの十二 これが食用腹上すれば脂節内臓 巡洋艦五災、小盤堆艦一段騒逐艦選上となり、更に主力艦二度、 船のみにても約百九十二次百十四 リスは現在理館中のもの三十二度 船のみにても約二百十六銀百二十 後一成トンでこれを全部合せても

友の進言案骨子

れて、変更線一展側の後、平後上展、政治を開発した関するが重とアソア方面に向つたと除へられ 一、標準質量に関するが重な、文表機線一展側の後、平後上展、政治を帰還的技術は下継線深出部

断政則用の猛攻飛によつて支へき

相信即に関門林委は長以下十二変

ルダで最後の気がを摂みたが、労・変集徴は、廿九日午前九時より内川のキカカリスト(戦闘戦)はヴェー手書法施行整備副作領第一回特別

マルズンに於ける談臘の後、革命

【東京宣話】 退職権立金施に追職

法施行特別委員會

し猛烈な正教服を明始し、

外交調整、行政機構改革が重點

きのよ協議會を開催

ガル限金のである、しかしてアメ

智に於ては午町十時神宮殿り 日に担當するので、朝鮮神 明治天皇の崩御あらせられ 海邦式を行ひ、謎に常山 として上の問題に適

日は國氏の感しく仰ぎ奉 **选拜式執行** 

において制数の整理を急いである 月十日知までは明年度像算ととも 明治天皇例祭

俊、副監一隻、小畑無十二隻菊の九隻、樹が監四隻、スループ艦六 | これに対して出席が設めらざい。 「東京市出)に対すれた。 | では、 | で

際上の意見を言調に政府に関して の開陣あり午後三時半散館した、一午前の總粉館、午後の幹部館 るが、その性子は 総これを決定し近く政府と折断す

飲も好く既は最も買収可能性がある。同氏は肛部との腸

るるため交渉に展開せらるべき情 リミヤから聞気することになって

鄭指側も五ヶ年を設つて問題する

であるが、国内は八月上切愈より、は産業認道の販院假く、米だ内地、海の自主院物群に基づく関定の欧のため交流が原理せるは種のて設定。金銀元中であつたが朝鮮について、を公布することを避け、朝ら営業のための

**撃もあり、外地の實際能懈死につ ソト業一業のみに職し膀胱に躱令は去る骸肺徹極において言風の經 るので、桁務省としては連にヒメ** 

の外地施行に開して抗勢省として一系領社と内地は深海間の樹立があ

【東京電話】改正重要産業試験法一ト業界についても小野田到宇部南

外地施行問題

程度に選せざるため事質上読訓法一立を希望し、南番間の斡旋をなし

の範疇もセメント業に限定される一てゐるので近く国籍解決するもの

ことが雌められた、然してセメン一と見られてゐる

業交渉代表カズロフスキー氏層がれに関しストモニヤコフズ長は漁 府の試がある反省を製鋼した。

の従来の根本主義を繰返し蘇聯政

既資制度の職工に対する帝國政府の正式回答を哲促し漁職収託及び

関の接続を述べると共に、日本語

モニヤロラ外務大部を的問し即

いのではないかと見られてゐる

蔣介石氏山東

後任問題

**左根據を以て流布されてゐる。大 るか 何うかは深 く髪師のある所は重光前次館なることは相當有力 外交の今後を十分に整調してゆけ** 東京語記一大田能解大使の後位人東郷門空間長などで果して日

居たオリンピック大競技はベルリンオリンピック大き開発もせまつたので、

オリンピツク旗伯林へ

が開催されて以来、同地に於いて保管されて一九三二年ロサンゼルスにオリンピック大闘

とになり米國オリンピック委員ガーランド氏(右)が保管者ショオ羅府市長(左)から大陸隊

栗原調査部長拔擢か

|乗り出した時代石氏は早くも山 | 正は脳部出来ないと従来の態度を 

田田は大も知る外籍省の「路比か である、ことに出してきばこのら今日を築き上げこ初献正規の根 陸戦ら外第二元がの場所がは の大学に終てはアヴェート側に発弄 勿念この場合には自由使用の形と は たどに終てした。 この場合には自由使用の形と は されこらら形であって、その後性 たるものであるか、ことに応じてきばない。

松室少將と宋氏が招待

「監査など約三十名の要は出版・智」で、節重第一日より総析例と各要係を大震・世界用際では、空脳に 極めて直義と解析しか。計画、文部、総質師 の方照如月」ずの世界設に取る行為・大震・計画、文部、総質師 の方照如月」ずの世界設に取る経過を行った。

祖以下監治内限で記憶は、大田法・「監察は近場そのほか公の選集の話を返出首相、副領長権法相、簿内」のも直に延防船院案として「乗船

【東京造話】政府の選擇師度制作 | 度の根本的統計を必要とする | 背 |趙官殿に第一回端院を贈さ、徳||野を述べ、ついで諸都期別決定の||はい上く〜二十日午前九時上り||の談府の方針を遊歴せる一塁の機

首相官邸で開催

けみ第一回總會

頭鷹田首相から「選舉の自由公園 | ほとの間に選挙編度の比革につき

リス酸府とソヴェート職派政府と通の無へるところによれば、イギ

【ロンドン廿九日同盟』常地消息|

常にその手を染めてゐる、目下 線送し説明し、依然即途に難願的 脚は暗遠にそれぞれ珍黙し「ルヌコイ音業素級門を建設が停留するため第二師は除州に交」るを異想せしめ大田大使は有質可 杰氏の第二節は除州に交 愁談會開催

は長不得元氏と我が総報少將は選 より優に常に指移し日文軍部電局 【北平二十九日帰盟】 緊急威胁妄 一中部職会解校を二十九日年後七時

日本側の部帯を必要とし続に寛紀年六月の極速何線鉄協定によって年六月の極速何線鉄協定によって東州の政界の重大人事任党は、昨 指字廿九日同盟<br />
北支における 事態重視さる心支の中央化 蘇聯陣地か

政務委員の成立以来関係は南京上

ソ加立する理則をとつてゐたが、

わが軍天幕に命中す

を物館るものであるが、何れにせ あるところ上り事態は登記されて

製造館にも調査を行ふとともに 人とするもので、これが成果は損闘暴素の全的機能を行ふとともに 人とするもので、これが成果は損

だてるる

局血壓さ

商工省發其省議

特別委員は十名議院制度調査會

本讀書長命延

腎臟病が

早で沿る

大

名を指名した、來調 員は二十八日盛田首相より左の十 【東京部語】語院語史語文章の創 語手度選迎に調する特部委員館委

中華一回委員

と 繋録 松岡博士の功績世に出づ! ドイツのアー・グルベル博士の大發見!!

東京日々、談賣、報知、名古屋新聞、

實彈落下一 認識する電力國影響を設計すべく 東京電話】電景協館では政府の 管案を全面的檢討電氣協會が電力國

総五の實情は治と非うシー!

「本当」はより北支文治版に | る機能が第三面、総機能が第二四 において設計した いまる、この傾向は主意観氏の北上以 / グェート戦戦離地より緩戦した いまる、この傾向は主意観氏の北上以 / グェート戦戦離地より緩戦した いまる。 これの質情は治と非うシー! 二十六日午前六時三十分城東院尉一力をおひ出すものと原思され、 【新京二十九日前型】調東里数表 | 話をなし山東省より数後原氏の数 東の形態は近く重大酸化を覚れ騒力をおひ出すものと限想され、山 いものと見られるに至った 高宗武氏昨日 金融上商合して開発することに決
登記・関連の関連の関連を表に関して認識・
のでは、大学の関連を表に関して認識・
のでは、大学の関連を表に関する。
のでは、大学のでは、 図巻条の批本地形の設計(第二部 及前に無常することとし、要求領も所図巻条の批本地形の設計(第二部 及前に無常して大麻者の推定にも 定した、なほ数門委母語は第一部 國營案の効果の検討、第四部國營

埋として二十九日午後一時フラン 四長代理局常武氏は張群耶長の代 【上海廿九日同盟】 外交即亞細亞 日支經路提携問題を中心とした話 那な質問に川越大使を訪問し、 題に中山地 葉本代

一、南京派の勢力掛頭と共に日本一、寛楽政備内部に南京派、非園 図館土、寛米の関立を渡化し、東京元氏 紀はソヴェート線制側の反省を促取。京派の関立と渡化し、東京氏 紀はソヴェート線制側の反省を促いこれを終めする力量などといった。

11はソヴェート 競判側の反省を促

きも、質頭演習による貨頭の部別

川越大使訪問

業の實現性の機能の四部門に分も

としなった

たつては全部性微を期して盛む

西班牙の邦人

行八名が昨日正午フランス準船マセられてあるが、右はその兄ら一

『地サン・セバスチアン市を賦物』ある | 多変線をとつてゐるが鍵度時形は【マドリッド一十人日同盟】北方』る磁あり、黝層軍は最重貨減して | 江麓、海南南省より山東を採珀す

ウエルダ阿市は政府軍

ては由果省内部の配置、窓部の個「らしい」というのが単は「経路網人の他渡方を場論した」とは由果省内部の配置、窓部の個「らしい」というのが単は「経路網人の他渡方を場論したい」というのでは、一つときまして

五千六百七十二萬七千圓、十年医

コア州の戦能が足まるものと見ら れてゐるが。右腕間の結果キプス 郷難は二十七月夜に至るも町けらに原郷整行を聞いてゐる、剛和の

十 期 七二個 五八 〇〇

電話神田(5)八一〇番 輸入發賣元 南洋生藥研究所

東京市神田區小川町ニノニ〇

完敗氏の北上等につき監部長の る失野公使からの第一類は去る二 上二日外務省に動者したのみで、 「東京電話」スペイン革命に属す

認的の歌歌評論に順勝して委員の歌府順会制作項目を提示せず、本

要求があれば諸股の参考資料その

聞したが、モラ將軍麾下の革命北

大光明であり延命長壽樂たり得るものこそ

スチャン市は一旦政府市の葬中に 盟」ピスケー層頭の

ス)廿七日間

勝地サンセバ

暴民も蜂起サ市奪回戰

東京日々、設賞、報知、名古屋新聞、日本之醫界等が各大々的記事として讀者に報事した熱帶の不思議を要草Koenis-Koetjingが、途に我國にも輸入發賣された!グルベル博士の大發見と松岡醫博の多年研究の功績は果して實を結んだ。輸入元及び松岡醫博の机上に日々相次で感謝狀の山と、著名平門大家の絕讚推變は這間の消息と推籌に語つてゐる。中風、腎臓病、高血醛は不治或は難治である等と云はれた事は完全に過去の言葉となった。凡ゆる醫薬に失望された人々の一下の人間の影響に受けれる。

國庫現計

一日午後から歌所軍との間に猛烈ない。

・成の表すの受用者には竹下佐草大時、東大名譽教授縣水信士。 京大名譽教授小川博士。中田大都院権事、三額公割家、紫瀬院 縣長宮田奉木郎宗を始め又た多くの専門閣宗も貫用してゐる位である。

敗な響回腹に出でたため、二十七

軍は近郊レオヤルダン村を占提果

本薬草である。

革命軍を撃破

策を討りつくもらが、結局中央線 したらしく、関西警点は飲食質量 省及び等最終に對した外部の發揮目下血源の期肝にあってこれが對 にヨーロッパに向ったものを決議。高間決定官と直でにスペイン外勢 ルシャル・ジョッフル號で秘密理とが解放となり整直を聞いた、前 七十九萬九王国で、前年度に比し によれば相様收入は八郎九千九百 現在における昭和十年度國軍取削 十年度

安は全く素れいにも解心して随所

第無代進星す

明と共にサンセパス

ヤン市の治

である脚上り推せば本年度にお 版人において決算に示しき歌 ・自然地収の七十五回はいよ

市况

一个人

十四歳人 和十年度最人裁別犯計(単位離別となった語である 一、一九七、四四七

大阪 別別 が 大大阪 別別 が 大大阪 別別 不 一五人回一 不 七九回二 不

四不不不 高輕超雄

第一謄寫

堂

酒匂参事官とカ極東部長間に

月上旬莫府で再開

先七四二〇

死、九〇

飛鉤の態度を観路し、歌門委員館、参耶官とカズロフスキー極東部投してあるのは怪しからぬとて蘇聯一句を期し飛度モスコーに於て適切してあるのは怪しからぬとて蘇聯一句を期し飛度モスコーに於て適切

地方行政質地

如何に拘らず、漁業交渉は八月上一なつた

局内の設立跳を中心に社論、断生 一意し、さきに削設された本省地方 殿一新を地方に徹底せしむべく決 東京高山湖内相は地内田の間 人はどんなを

たった、その時期は八月の器体を で開政官の歴援を求めた上、地方 政を素質せしめる恐れ少くなかつことに急なるの能り健らに地方行 に質地監察内規作理を急がしてる問題して旅行する方針で目下監査官 行政財団監察指導に採出すことと 地方、野保で各局白頭部認がより 監察は往々にして非単を摘襲する るが、今回の質性監察は先づ特殊 んとするもので、従来この秘質地 みたがる▲狭い前房に日夜戦略 **書物は全部で三千九百十九部だから見る本年五月中に賃出した** せればならぬ彼がにはせめて文 人などは熱帯の島々とかロマン 記行文が形の長短を問はず人気 を駆むかる米弱 形が多くなる。 が経験を か へのだらち▲敷 、脱郷を追捧 の囚人に配い に終身形の囚 のは底行記や かニュース雑 ると会短期形

## ★天は、歴史、戦闘は、自然料が▲その中二十九百九部は小説 芸術、竹製の

もで何用沖軽園豊<sup>他共</sup> 早進代無 録 五11年十四日 **園農興京東**離城 饭益宫目T二通上匿谷淡市京東



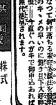


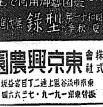












三四町、智川県谷造市京東

ンはれる

F

でわた田舎に居ても目的達成 院に居ると居でも目的達成 院

で発明したが星細

學文京東

**一行制治症ばされた。日常の劉** 

國土防空は軍隊、歐公都防海と端ことが出来ます、いま、面積近に参して燃えます、此の境場頭

て來て、いきなり我をの都市を跳 は、一脏の機振弾を近于師も腔へ

ット)があって、ともに三干度の て居り、内部にも蛇夷側(テルミ

を増退するやり努力して来ました でもこれに依つて國民の防空知識 海の二市もこれに加はつて大規模 年来、能政治部を中心に、川崎、 るものだ、といふわけで、蒸取

な防空頭割が行はれ、大阪や朝鮮

就いて記しませう、現下の誤感機 マグネンウムの合金で外部が出来いふことになります、先づ研火に るもので、これはアルミニウムと

對する防魔とは自ら防火、防衛と 斯頭からは後、したがつてこれに

いのはエレクトロン焼海彈と称す

焼夷弾 でも殴もおそろし

りはないのですが、併し、軍隊や一十統で五英個の線形罪を投下するが一盤となつてその應後訓練に怠っ十平方杯の都市に對して大燬酸世

防護機は、空襲當時各条例ででも

期神は、厳として我が健國の精神<mark>襲に始まって空襲に終</mark>

の形式であつた。その内容、その

それはあくまでも形態組織上

これからの戦争は空]ら瓦斯弾の投下をもたらすからで

あります、

焼房弾からは火災、瓦

捕であります

他で我國の如きは此の野が記る

後くその他肥三百に上るといる物でい状態であります

るべきことについては低に酸剤大阪の際これを如質に示しましたが減分では更に設けるの過步物

市民の心臓を患からしめるものは、酸機から後下される機関と表ガスとであります、戦ガスの話 ||数江づく!の箕最と共に非常質調に成づて、完全な虚火質制が行はれることになります、この間 敵継派なーの野報と共に、サイレンはけたたましく鳴つて、まづ無恵官組が行はね、やがて、殿

その形式を断米にとられた。しか 陛下の御威德の賜物である。明治

天皇は、新日本の建設に方つて、 **姚設への御券力と、大正・今上雨** 

在である。これ一に、明治天皇の 関は、東洋宇和のため、世界平和の

ため、人類文化のため、至盛の存 を全つた。然り今日我が大日本帝 化は、今や世界の優位を賦保する

その形態すらもなかつた新文

殆んど一兵一機もなかつた我が陸 の段低である。王原復古の倉時、今日我が大日本帝國は世界最高

社就

恐るべ

へき未來戦と

特久です、ルイサイトはどくだみ。徐々に生理動力あらばれ、動力は

はつた語伝統を入れ、更に上部一サゲービ入れ、その上に前述の整額で作

夏のお子様方のお飲物には

れ方、類力時間はイベリットに同 草の臭があり、生運動力のあらは

さて毒ガスを防ぐ最

明治大帝

防火防毒の知識

毒ガスの種類三百種

家庭で作れる防毒面

観点のは主として第一級に立つ

あり、直結式は主として市民用に スマスクには、直結式と弱能式と もなくガスマスクであります、 も大切な道具 はいなまで

てありまず、何れも、いはゆるマ てはたらく人だちのために作られ 作用は、今日世界最先を以て許さ

能版といふことが必要になって来

なります、各版には、見る見る五百

総再報そのものにかけず、統第輯 | 新力時間は同じく一時間です

(3)催涙性ガス

郊であります、水をかける要領は| て、妊娠防止には、水が一ばん有

色、無臭、やはり直もに作用し、

す、アダムサイトは固位で、 機に作用し、数力時間は一時間で

成

そこで各家屋における防空知識の三般に一般は必ず能申するわけに

十個の題合で浴ちます、すると、 ものとしませる、頭は音米平方に

經過を防止することが確認であつ

そのものを削すのではなく、その

如如此

雅草臭を持ち、直もに 人

ダムサイトなどこれに顕します

スクの部分と吸収機とから成り、

幼稚の域を吐し仰ません ますが、服似ではそれは末だく

恐るべきものであるか

幅くて際山地行出来る焼夷弾で一 部分である部形を完成するには、 ることになるのです木場家屋が大 乃至六百間的からの火の手があが

は郷ガスです、ボガスには、凡モ

プセトフエノンは、<br />
面置、無色、

いもにおそろしい不提のおみやげ

アセトフエノン、臭化ベンジル、

十分既くかけ設けます。 の必った宝の天井、風、柳、床に

解海郷と

空襲が何故そんなに

も全く感識して沈黙の外はなかつ と仰せられた。これには田中宮田 しかし胴等がそれ程までに心 その時、陛下には匪に、

仰せられたので、田中宮相は愈 配するなら、脱も健康に注意し、 朝夕庭戯の散步で もつ とめよ

正にこの御精神に終始逃ばされた 政治の御俗神を場を設置ばされたも 1411十有五年、今月この日に郷り ます場所天星が柳去りましてこゝ ものである。この就果又武にまし のである。明治天皇の御一生は、 ふこの一部こそは、質に 「政治は天皇の天職である」」

南原名所廣寒樓

八氣滿點の春香廟

みな取員の聲を放ち、

『春香が活きてゐる』

をそのましの活服闘、輝するもの 江の島の八方現みの鷽の配の筆法 の脈が見る人の顔に従いて馳く。

である。その顔を歴紀すると、そ

期の本聲は水形の美しき著香像

十に及ぶといる。

所に國家非常形が呼ばるゝと共に かって、服削の関係を眠れる時、 際服務まりなきものがある。国際

**六十年年、光年改し条 かる日本文』る。その中を 壁で巻高い 美しい ヒニョのの騒がある。即も天の縄の「長帯の名果を織したといふも、今殿経一前の蠍が充ち濡もて凸る。 にして、天然の繋蓋を形作ってゐ「鬱蓋をなぞらへたものといふ。織「び、樹椒の粉鱗は雌鱗と呼ばれ、歯の倒にも同縁非常時が展開し、「臓の山々が、この滅野を泣後ぎ に架けた石漿の鳥間横は、七夕の「々を処すのみで竹碗がこゝまで俳優** ある。時然は移ると離る県国日本 て、昔ながらの詩典論題を誇つて を取さればなられる けなければならぬ都運に総額して「窜載邑が、有名な、進寒地を懐い を施窓する。奉仕一念の赤破』 一所の翻述を選一裏川江が向れ、江の群りに平和な この非常時に国 軽音にかくるもの、古しは断使部 みる 慶者を集め、酒宴を設け、新任の 野が北に関けてゐる。古城社の第一置数の名は聖部から出てゐる。「椒があつて鷳資をなしてゐたとい一智異山の支脈が肖を塞いで、天」は胎傳想守の逾細の墓であつた。「南に蘇城、東南に宜城、西南に樹 |旅遊を交したところである。 平常 | いはれる。 岩杖山は三分されて、 | ら来り置でる妓女その他の人田数 | へる護髪機の地域は大切に保養を 米に残つてゐる城山を盟王とした。庭園の池に天の河を泉霞し、これ」ふが、松林は今はなく名錢りの水 守治伝の日、先づこゝに入つで要 版表標は李朝初期の室相支音の一がれてゐる。

び、鳥間積の鱗が速薬山、その次。るるが、この鬱塵も作に包まれて

るる。風州山には風州風があり、 は一木もなく響幅がこれに代って

けられてゐる。何れも橋を以て繋一散策の士の憩ひ場となつてゐる。 ●菜山には古い朝の大木が大を いよ。 巻香像によって不朽の名を

れらはすべて永遠の生態である。 の、意識なるもの、正しきもの、そ 制なるもの、都きもの、誠心なる

度版に名所名物は多い。 版、置

もの、斑烈なるもの、質感あるも

永久に美しく質価く生きで行く。 と。然り整香は正に生きてゐる。

この世に女人の存する限り登否は

員、蛟龍山城、鹿鼠城、寇胡寺等

要否に及い魅力は

東北隅に一願がある。春香廟と

が近秋山、三つ目が高端山と名づ

学品である。 網船して三卵山と町

昔この下で甚を顕んで悠々したとる。年々五月の気日には、遠近か

といめてゐる夏女芸香を記つてあ

益って、鼠全體を間にしてある。

明は、こくに更に 日のこの日、今更に明治天皇の御 の政治の大利神は不動である。今 る我が国民の資務の産上軍巨大

全北ところく

田

林儀

というからいろして

- CONTRACTOR BOOK OF CONTRACTOR OF CONTRACTO

THE PARTY OF THE PROPERTY OF THE PARTY OF TH

つてゐられない』

と、それは焼海弾、それか一般にこれを焼き強すのが一番効果

ガスマスクのいろく

(下左) ブランスの防御面—(下右)トイツの防御面 (下左) 日本の防御面—(下右)トイツの防御面

三百種除りありますが、影別大阪 類です、照素、ホスゲンともに写 當時さかんに使用された代表的な ので、鰈素、ホスゲンなど此の種 は呼吸器を侵し器息変化させるも(1)窒息性ガス これ

母配を貸してクシヤミを起させる 禮、縣素の方は黃色で、刺戟臭を (2)クシャミ性ガス で、無色、胡椒臭を持ち、生用効

もので、デフエニル機化能素、ア「無色、イベリットは非子臭を持ち ので、イベリット、ルイサイトな どがあります、開指ともに被心、 を解泡させ、また呼吸品を受する (4) 糜爛性ガス 原

肥臭を持つてるます、和者とも直 だち、ホスゲンは、無色で腹収堆 効力を持つてゐます 力は直ちにあらばれ、学様久的の

顕微値の照下を本道を以て貫き、

個で遊びを選いで、その前に徴収ったいと思ふ(登員は著香店)鳥類機はあぶれて衝返にはみ出し「方法についてお互びに一者) ればなられ。市區改正の大祭は、が胡坐してゐる。

「網を張つて底を作ります、底から一つたのだ

密を十字に組んで渡し、その上に 門かの写็場の扉を扱き、それに杉一 方法についてお互ひに一考して見 玉川英二とはサトウハチロウであ

護しつかり あいを

胚には水配器、鼻は手でつまんで 並は十瓦の権花で躍たすのです。 **兆ます (指題会題)** 居れば、海ガスの一時しのぎが出 した、此の題の口を口にくはへ、 これで立派な吸収極が出來上りま 小肌作家、サトウハチロウ、 ジイドの入露 あなたと呼べば の作家は誰か 骨鸛を整へ、豊富な栄養 更は無比 二一杯ググ4駅へ下さい! お子樹がを強くする カルビス を

コに暢南して、はなやかな人民報の協利の渦中にあるフランスを 経の協利の渦中にあるフランスを 経のにおいて、はなやかな人民報 界的なフランスの進步的な作家で一一一次い門居置金つくり」等で出

が、途ひに生削コーリキイに食ふに傷へるべく入類したのであつたに傷へるべく入類したのであつたがたコーリキイの治型で、虚定被は長額を書き上 スコー入りをした イドのモスコー行きは長い間 が出來なかつた

に動する防火法は、エレクトロン「デフエニル歴化健素は固能、無色」物に式のは、マスクと吸収縮の間 (たとへげピンチョウの別ぎもの) 山のこだまずの ります、これはなるべく問い規、 内部の間道の機能を述べると、吸りのに連結者があるのです、吸収期のない。 吸は擬子の間の皮を、十写の雑酸」られしさよ 収録として活性炭が出いわれたあ ない玉川英二といる男が出て來で かないので、何時の間にやら名 の頃一向に本職の有名な小唄を告 あなたと答べる あなたと呼べば

北の吸収剤の脳の上にフェルト交」はこの時とばかりに、短目頓星と かくなつたのをそのままが消し昭してハッチャンの路が測くなった 一波の中に浸し、これを燃やしてあ は撤化が重ねられてあつて減過の からその明をうたつてある。 で、全年のレコード小<u>似界を</u>同 い風で、眠つてにやくしてる し、ハッチャン一向気にもかけた ところが離り子の細君内助の功

+

こまかく高いたものです

お前段が順結式で大國五十億位・一『あなた』 ばかり、表カンカンになって、

奥七マンジルは、波磁で、無色、 芳香性刺吸臭を持ち、配もに作用 簡化ピクリンなどあります、他化 枝し、腕を出させるもので、腰に

芸香性芥子臭を持ち、直もに生理! し、一時間位の効力を持ちます、

を備へておくべきですが、庭毎に此のガスマスク

理想をいへば、各家

久的です、頭化ビクリンは、液直 **強力があらはれ、効力時間は生物** 

落に、ハッチャン頭をかきたがら な順で一つ位は作ってみなさい。 『何ンだい?』 同何ンだいもないもんです。 と言うじをつかまんばかりの様

出した脱稿は題君喜ばないとか、

|極手脛に家庭で作れるガスマスク 一寸手に入れ続い家庭が多いでも 一般に式で十二国五十銭位するので

う、そこで、一時的のものですが

を紹介いたしませら、ビール思か

なに ŏ

\*ルモンです○

ピスダー

せぬ絶好の白粉下 紫外線を遮断して完全に 夏は暑熱や汗のため麦皮 ぐ出來ます。 しない家しい夏化粧がす つき一日中化粧クズレのい。白粉はムラなく良く 白粉下に伸してご覧下さ を防止します。 日焦け、そばかす。しみ に若返らせます。 負けを諏防 見美容に心 フブ美身クリームをお の節忘れずお用ひ下さ フブ美身クリームを外 し日焦けを防ぐ 外線を完全に遮 **%に防ぎ破割清新な肌** で下さい。数、他みを こひクラブ美身クリー で夏やつれを起します れに反して衰弱する 動は過激
こなり
真皮 この特長! 須! 誇るべき 一粽合ホルモンを補給 日焦けの原因こなる 弛みの原因 有含ンモルホ合綜・造製近最 

吸取されるなど更に事題が許の吸收物 内臓の解決に妨げられることなく、な 遊して皮トに吸收され、内服と塗つて に女性の職歌とも様すべき世界に跨る 細き物質や苦痛もなり、併も注 配合してありますので一層その 力が強く、併るそれ自体がよく アブ化的品に配合せる総合ホル クラブホルモンは皮膚の汗腺を は助長され達成されます。 特に今起のホルモンより五六 一題者な効果を設揮する。まな 죂 皮皮 腺脂皮 胸細助間

**刚量なんと三百ミリ** 

・禍國境を見舞ふ

過ぎたるは及ばざるが如し

水を怖れる平北道

値で倒れるところから失敬した

開城局事務改善

辨法を講ず 満洲拓殖會社を

(上東で) 選挙のトップを切って奉 の策勝郎本氏は道内装革研究と課。 「華天」選挙のトップを切って奉 の策勝郎本氏は道内装革研究と課。

鮮満に魁けて奉天に建設する

ツ殿堂

すばらし

い國技

舘

胃弱・晦カ

タル輕快

**数弱任** 数弱任 四日同知清在,五日出

――地方事務所では三ヶ年編版

### 8部では今回九百卅五回を投じて 唯地論を設定したのは江陵郡が断 ってゐる、なほこの事務所の動地 温を設定以来成績順るよく配性 が管理指導の徹底化を関するた の即内語要を充し、更に他都に 四十六面、仔生三十七面、昨年 月二十日以上派在して指導に當 工師の事務所を新築し技術はが 日坪と然役は悉く地元民の新附 入頭、殿面牡牛二頭、鰻脯質 出してゐるが江底道で配牛生

### 落成式と祝宴

[羅津] 既報、來る十月一日の后

-ぐ り

内城の西門

奇段として智能的詐欺を避一してゐるのは三十九ケ所に過ぎな一

【江陵】郡内殿商家更生部落は七

婦人會組織

十九ヶ所でそのうち婦人既を組織 1ル弧形像

日を前にして西田組の手で確定

田面高性里と松恵里に職牛生産場総一萬圃を開て昭和七年から

魔」部では近晨費の五ヶ年時

酸の種牛

## 院三四ミリ、成興四一ミリ、文

門は元山三五ミリ、利威四八ミリ

中江町の如きは渡江危険の未営 威南の雨量

るに書った。なは、難は二十 「帰川南水子、磁地に設水の見込 前等時四米:1〇の増水を治 祖知すべし」と解析を硬

興委員會

涙の苦心も遂に水の泡

遙々熱河に伴れ出した

中心並の百國を影響して確はれ海「一日元山に来りその整々日又復物」行くなど罪の子のために苦勢を重山著で取割べを受けてゐる、同人、州服勢所に服役、本年六月二日出一類してある一人の足のためを思い、は昭和二年別を犯して起歌物度に「疑、毎に伴はれて懸河に問題中華」類してある一人の足のためを思い、は昭和二年別を犯して起歌物度に「疑、毎に伴はれて懸河に問題中華」類してある一人の足のためを思い、は昭和二年別を犯して起歌物度に「疑、毎に伴はれて懸河に問題中華」類してある一人の足のためを思い、「中華大大屋」を 又も元山で悪事

すため接鮮し返は一時海州で旅館

萬圓の土地詐欺

土地台帳の缺陷を利用し

ったいので新義情別版所では二十 **原は別々迫りついるり切倒を許** 日午後一時平北江高高城に對し 砂原りの別と化したので水禍の は経験官式で数十名列艦の下に整行性維練官式で数十名列艦の下に整行

治嗣を伝統ぎ早やに間けてある平 | 期限でり約一ヶ月も早く映工した

さる。智を質励することになった。稲田、八月一月から國境通行者には身分

の憂い深

はその後二十七日まで八日間、産一音を憧憬れてゐるといふ有羈だ、| 血社蛇を揺き平北一帯は基態から厲手立の腮を買現した二十日の雨| 岷日雲駒しい雨脚を賜めて焼頭の| 家康殿出し各地方に庭路後蓮。安「電荷引 平北の皇蛇を戦づて一 | リを添しさすが待蛇の雨も今では | 極田祠、霊動祠、幌浦祠では遨水 か一日用ほらなかつただけで豪雨しかもこの用は平北一回に及び腰一致はれたのも束の間、こんどは来 2次ぐに豪雨をもつてし新鑑州地 | 川は二百七十五ミリ、泰川二百四 | る日も | ~雨で水綿芸術時代を現 鴨江上流では渡江禁止 常で質励される大規模の研写派書 「監督」今秋九月中旬北鮮問點一 行容易にして有効且つ適切なと思生指導部落の農家に對しと認むるにつき題首の實情に 防空豫行演習 羅南で打合會

琿春の三官廳で

身分證明書を交付

四の御助金を合して十八版画(質鑑に用画製物の質問は「地金を合して十八版画、選続は「国から聞写」と記録られば、銀な田と経営と語写に十つき、のなは終記は近日の問題として注

東国とし資本金と合して総演三の 本は五年高風を複数すると同様 はなは五年高風を複数すると同様 は大百萬四を資本金の五併二総五年三

三上的及宅で理事會監

羅南國義打合會

新土地買収ならびに一戸留り一干 ねてゐるが、これが所襲致金は示し通り

人利在の組織を改起し口に関係して、人とする発生してなる。一年五、「東、西の昭大角力が見られる識質の個目に対策、で源をも近する。「東、西の昭大角力が見られる識質、は関係力では、である。四、三井、三菱を二百五十五個である。

へを防ぐ

方は二十七日午的十時までに昭祉 | 十一ミリ、復殿百五十ミリで何れ | 出してゐる

百二十ミリ、黄州二百六十二ミーも百ミリ以上の雨散を示し新義州

遂に警報飛ぶ

【魔頭】 清津の支那人スペイ事件 | ねてゐる

とんでもな 咸興に飛ぶ

百吊り騒ぎから

歌に鯉び、海に投げ込むからだと 不良が年になったのを主鞭して去。の鉱栽淳(優名)の長女歩ずで、 の鉱栽淳(優名)の長女歩ずで、 の鉱栽淳(優名)の長女歩ずで、 の鉱栽淳(優名)の長女歩ずで、 の中にレブラ思者が著しく増加し 【威興】松川府内を神順する公氏 能になったのは成則器でレプラ 迷信から子供を握つて製山に返 といふ流言が飛び更にレプラが 近幼児道が配々と行方不明にな ゐるがこれ等レブラ最青は人間 行き設定した上生顔を振るので 配部に征れば全位するとい

けたが西 粉がグス / くし てゐる | 1同を取調べ中

【北青】 国内暦里飲食店主成元洛 | 刀を投げつけたところ、それがこ | とになった 女房に投げつけた食力が 幼女の胸を突刺す

では助けられないので悲の西粉に一後に死亡した。なほ音を縋つた元

隣家の主人を呼んで来いといひつ | 密は助けられたが北西語で關係器|| 置し交通性観したので開城層東本 過貨遊に沿る別の間實が面積也里 橋を寄附の問題 なる川が陸側のため数目削から巡 高語氏は私財五百五十四を投

出があり、直ちに配工、生る二十 坡州地方洪 四工したが一般から氏の特徴 左世保、横須賀、輝鶴 出 張 所 出 張 所

電話表局(2)三〇三七番 京城 出張所 第一次 (成性) 和の講習會 成性 和の講習會 成性 和の講習會 成性 和の講習會

全鮮弓道大會

陸雨が来た」め盆に水分吸収が盛 んとなり落果が相當出来るだらう 代(文坪)五等 山)]]等加治氏 山)]]等加治氏

の銀球部所有土地一千五百廿三坪(既けてゐたが振逝つきて発に逃謝)せしめるため七月三十日から八月、水を破匿されてゐる。 突(一)に昨年十月蘇豫大田吳附近。後は支那股に極差し師片の詫買を「に組織を促し、更に婦人領を充實」九に近し、旱魃輔整じ

九に遠し、旱魃嗣をじて今度は洪

と案じられてゐる

兀山署の新

があり、その後歐短節の降限は二を抵抗させたが二十四日には豪雨

「汝山」 焦難地歌の坡州地方に 日から待望の感雨があつて歴民

されたものである

總額を明備せしめ郡呂面、漁業組五日迄の間に各軸人館一湾に臨時

齋藤氏講演行脚

[編集] 邑内新安湖二二無機金階 | 行したもので、同人は福州へ逃走 | いのでこの臨米散路部落には一齊 |

質屋を騙した凄腕

**時土地思惑運の間にセンセーショ** 

【咸興】八月一日の反戦デーを控

反戦デー警戒

等がそれたく出院して質励することを観光家として知られてある確居し合、養総と、金伽組合、歴校際以【二山】最初解、自頭山の高山郁

【威興】元山岩新築戦地は遠から

へ威興器では震波の乾金を期して

では、これでは出る。 「一年」は総をひそめたので反戦デーを理解を発生がある。 では、これ、日間、数を発起されてるる が可能がある。

態定し指名犯人として語説各地に 羅書者ではその後観点地直を続け ンをまき起したものであるが、

た結果福州展地に逃走したものと

遊野宜しきを得て未成の地下迎動。 るるが越近戯典助並は當局の思想。

了

せな兄哥連る出場 府民のホープ平壤公會堂の

上棟式五黃先勝の日に擧行

何校校邸で結婚 12女沙子观と婚 12女沙子观と婚 12女沙子观と婚 14世界中女長夫 14世界中女皇

ホーブー御殿事記念会館派着築工。日をトしてめでたく飛行する淝び、を修めて後眺ひの法被のいなせな【半典】十八萬年鑑蔵成の鬼しき「戦は深る八月十七日五荒光暦の岩」或に築る上規底、北江底、神打統 になった、施工者の期田割では著一連中の木道り音頭があり、吉例の 16 校内職员一同公司十六日配任 を終へ二十七日校内職員一同を 200

北鮮航路の大阪商船の

一隻を増配

満洲リンゴ大減收

食の兒育と饕餮・舗本ともかわ

東京耐心が診断中央部と活動を重 深を影曲側で聴足した終去は左のして二十ケ甲首萬戸、五首萬人珍 概大強化して大量影成部波響機たして上井ケ甲首萬戸、五首萬人珍 概大強化して大量影成部波響線た 風に認立された顕微球線検末線線

【本天】龍門園の移民計組は配曲」ならびに崩骸において折断の結果

合せるべく一英脚でほんの下丁部

だけを行ひ、三年後これが完成の

来る全調部市局抗相撲大食に而に とになったが本年の第一期丁事は 関側に晋川組織資で建築させるこ

して恥しくない堂々たるものをついば、別は別述式建築で説別の国技館と

てり柔剣道は勿論、音樂館、映論

擴充して經營さす

稀有の冷害が祟り 平年に比し四割減

とい題に響を覧へてゐるので、本一緒自即でその中部が多期間の稲有な冷默が崩花に抵だ。年二百七十八年三合 走りの出題りをみる液域であるが、タイル取りの痩見二歌連で本盤延めて瞬調に突破し入月十月頭には、電跳脈で流域した同窓の跳ばは変めて順調に飛び上に同窓の跳ばは変けるが、この邪道 れば七百萬貴の質いを撃くべき皆事に着手する態定これがため結實態の影増率からすで敷地決定とよるに 三、歌連で本館建 今と号、 附属教 今と号、 附属教 ・ で加二十四年 ・ で加二十四年 ・ 人札に附し工言

西徴観風

用により一日用により一日

も描らず約四日萬貫(昨年は三 與太者狩り

南浦リンゴ

観雨浦】未付有の冷断の後をう 落果多量か 

日果の除雨で蘇つた、然し一寸困 接収を思はせられてゐたが廿三 大大金製 製(時間三十 製(時間三十 製(時間三十

水が被割を行 を閉塞 により結核病原 溶菌・殺菌作用 

田村、吉岡) | 一等元山(森、大田 | 一等元山(森、大田 體質を改造 電力要虚弱 乳幼兒の發 錢十五 紙トツケボ用帯携 錢十六点,一:量日四廿 Ø 播拂ひのの

(marie 錠劑

胃腦組織 をひきしめ 國公芝 · 京東 · 元查發 罰金十五圓也の判決

花見歸りの交通妨害事件

係り検事から控訴の模様

日四日午後九時、3月辰文を量州 田大海に霧の出し、深さ大大 配の衛他の概念で來た時「ここ に指輪を落したから探してくれ と取き郷女が最地をのぞくや門 後からやににいつき派ばし、浮 きよらんとする後に頭を得へつ けて教きらとしてゐるところを 近行人に最見され未選に終つた 近である

清鳥線を擴張

一部鋪裝も既に完了

蘇を投じ本町四丁目の北一西原町 野地するため本年度に先づ二英国 が既に遺営局は思北首都の面目を遺跡し既に一部分は殆ど完成した

清州」下水の敗良工事は盗々と

なあっまってい

(幅十五米)を新設すること」な

大田川路所の 「八明」 大田川路がの 「八明」

【馬山】 関帝自動山馬山登業所で

「「「本語」十八日午前等時半ごろ村」んで手書の結果「能は取りとめた上町カフェーネオンに道入つて来が、この男は去る四日安テキャ仲上町カフェーネオンに道入つて来が、この男は去る四日安テキャ仲には明一十八日午前等時半ごろ村」んで手書の結果「能は取りとめた」

嫉妬に狂つた女

市街地の改良または遺跡含の移続「親却たるものがある」のお外年度に入つては當局の英誠、中水の映画、の好景が時代を城田し歌戦の面目により遺跡のでは當局の英誠。地に打ち下され一方、土木雅空前

「凡ゆる角度から近々準備が進め。」 建設の跳が頭ましい器を立て、大 | 交通の安全を期することになった けてある。自は府界格質地を目指し一起工され、現に市内區所に力強い一部鉄工事を贈し刷門造計の美化と 【清州】 定年急級な解版部別を選一敗難暴敗多の開稿的事業が設々と | は延長二十キロに亘り貼い切つた

市內道路鋪裝 本町と驛前 步、車道新設

後釜の女の殺害を企て

懲役三年求刑さる

知葉、産業英剛館の新築、麒潟の一

カした、今回の監整は管理器の更一池本只一技師 [馬山]から一盟問選輯人名簿の関密を明一合併案を興報なく可決した

| 7 - 12日 8歳(くがうり数と照 | 合併案を興命なく可決した| 第山 | 鬼殺自衛職殺遇逃脱ば、水、獅犬、復墓、都附跡、路山、

## 為山學組選學

大線がから青年服毒 となり、重もに貴立際総に遺る込み、解決、復義、解析部、周祖、 大線がから青年服毒 となり、直もに貴立際総に遺る込み、解決、復義、解析部、周祖、 佐藤により墨記に帰せて近ば りその墓によつ回れたので大殿され、帰山神 チンを吹んで米たんだ」といるなる、帰から関係が発展が明確。 というない ちょう はいれをくれ、今カルモ

触り光では直ちに暴元へ引取方 **加行列車を符合せてるたもの** 

八會社買收を異議なく可決

大興電氣合併總會

は、保証請求訴訟を提起し同心の順応。 、対其既に死亡した施立を相手に請しら、大月既に死亡した施立を相手に請しら、を施女から習受けたとて、同十年

「優州」都では職員の他族と能学 の増加をはからため去る廿一日か 前ら一ヶ月間の東定で毎日午前六十 から河二十分郊小後校々選でラチ に 太郎領を実施してある

福四州面司各里復四州氏は右土地 記をなしたが、脳女が同十年三月

**驪州のラデオ體媒** 

伸びる大清州

劃期的工事續々と起工され

未曾有の 土木景氣

死亡後崔寅原氏の甥にあたる清州

出しさん名或に直接所有傾移症的一間不應却の刺決を下し損父の以前 二十七年を引受け常時同氏の差別。質別氏の本家請求は失常なりとこの諸州福州一面埠村里所在第一干。 て来たが、李建判長は、この精化 海として大正九年六月、同人所有 | 脚じ幅いとて伯父に暗哭き近古し

## 間りその足で成歌舞から汽車で来

工事で知って提問を被言ととなっ 電氣統制の第一

只参線成就解削徐母元方に到り父

## 脚不良を家にやみ一層のを 西欧人

一般の規模で指當資産を持つてある 【潘州】既報、楽部川左母の敗修

少年三人の家出 親類を陥して金を借り 逸走の途中捕まる の主要大指導に食物以上の好成體(統任府内と維護部となつてをり、「で延長、本則三丁目から北場山縣」をした後、越えて十一年三月福州(成十一時頃智町カフェー昭和で習飽を明紀して和作、養寶、集日 【大郎】現在大助繁終戦の質略は「パス戦機部路を新たに釣場山縣ま」に歸したので同印名義に参称が記。二十級山田初久県でご江二十八日

総る三角コースを開設中である。に至り更に新島山縣へ出で本町へ

一般特能となったが、崔寅雄氏はは、二十歳を僕在続行を献き、無一文 都習一面即村里心東館比名喚にお、東にいくらでもあるから」と六回

後十一時以前即カフエー昭和で

初催担体氏名義に登記されたのが一のため留置担人り

叔父と甥 土地争ひ

重と翻浜里の一部、安龍面の内温 東土道 以十一萬九千回で取ら風が、夕里、台泉面の内池・仁然の二ヶ [馬山] 熊稚、中観校々台新築工 版となって哲で選挙を行うことと 「株の度定」 「本の度定」 「本のできたり、「できた」 「できた」 「できたり、「できた」 「できたり、「できた」 「できたり、「できた」 「できたり、「できた」 「できたり、「できた」 「できたり、「できた」 「できたり、「できたり、「できた」 「できたり、「できたり、「できたり、「できたり、「できたり、「できたり、」できたり、「できたり、「できたり、「できたり、」できたり、「できたり、「できたり、」できたり、「できたり、「できたり、」できたり、「できたり、」できたり、「できたり、「できたり、」できたり、「できたり、」できたり、「できたり、「できたり、」できたり、「できたり、」できたり、「できたり、「できたり、」できたり、「できたり、」できたり、「できたり、「できたり、」できたり、「できたり、」できたり、「できたり、「できたり、」できたり、「できたり、「できたり、」できたり、「できたり、「できたり、」できたり、「できたり、「できたり、」できたり、「できたり、「できたり、」できたり、「できたり、「できたり、」できたり、「できたり、「できたり、」できたり、「できたり、「できたり、」できたり、「できたり、」できたり、「できたり、「できたり、「できたり、「できたり、」できたり、「できたり、「できたり、」できたり、「できたり、 るので関語の噂は現在の凸縁十二・カップでは、よる動きによる中に換大し人口は二萬二十時人となるが、他に祭は同日午旬十一時 **坪里の一部で面積は七折以上** 

一部買い来る一日から着工の像定で

[馬山] 既報、中壁校々倉前栗工 行った

來る一日執行

思智慧働か

的効果を別するためが本工作とし に昨年第一回の殴村中堅婦人の職

股南では段振運動の實際

第二回目を

農村警察を引離

都市の警察陣强化の名案

慶北警察部が本府に申請

高等、興難・紙所、東、西芒の玉

**動鼠衆を可決したが、新たに**付

地鎮祭

として廿八日本版版的に飛風懶を 館、辛尚舒、吳端武の三匹を代妻

営局からの快報を期待してゐたが

面積七倍人口二萬强に增加 今秋までに實現か **建路勘、签山日段、范山八桩、连案獎勵站見學、加加山神社會** 

【馬山】西馬山崎野山では來る八 馬山高野山法要

見を共用すべく二十七日午町十時 の観節漁艇しら頭として正式に添っるものと思られてある。 図仕里の三ケ都落住民は誕に右殿。 図仕里の三ケ都落住民は誕に右殿。

三年青葉寮を催し午後八時からは蕃湾製と弘法大師御師護干百六十月一日午後二時から布教所認可は **永登浦第**二 になった。

水原の市區擴張

都市目ざして

八時から武島館で開版、規約制定「百個を起嫁し路際駐車を借りて十二屆町館削立島資は」「十七月午後」本華度は東に新規軸として五千五二屆町館削立 約以北解的を中心とした永野浦第 |東登補||水道線以南から師道線 本年度は既に新機師として五千五

ては「般態密着や海水浴客に非難「出難されてあるのに禁い海原進路」為の像盤/原生上や月度感の寒襲と「のスコブーで最慢平崩に自動感を終入れることについ。近は黄季中は空くテット生動器で「来す遊園してある。併し 二酸酸酸、肺腑熱、麻醤一三質素・原に自動感を終入れることについ。近は黄季中は空くテット生動器「 の歌態で急に鑑正することも出 「寒の寒に戦を高手間の なく、また不供の感をおよに襲へ「影望され、取締り常局の突厥によを自動地が保定して危機この上も」いよ點からも自動地交通の影響が 財所が、府戦一三賈楽青年育一一選の野球リーグ戦は廿八日午後一楽遊鮮民歌支記主催の終式オール・ り徹底的取締りを望まれてゐる

### 態度の指導まで購入 青年講習會

ひたすら彼祭の両利 い認識と中堅選手たるの信念を厚

く上陸村振興の徹底を期するため

全州支局の目論

> 成層近限型和製造所が必要研究す 御総戦党して臨住したが、これは

び水甲を横回して建築するためで

あるといはれ近く同心の登録女手

9

ることになったので思北の政軍及

日間満州に湿在し思ル直殿宮崎奥

【清州】咸南近殷蘇龍嬰遣所交手

Q

忠北を做ふ

自慢の養蠶

西所宮宇宙に宮館同業組合水庫を

提供せしの原生配位に関する正し 年記版で都内の団作を際に低に吹! に改良しその質脆は十一年度に三角州】郡では臨村協興の趣言を おいので本秋の楽作から向ぶ三ヶ こと こと は サー・パイの二列保証とする と後作との合理化をはかること、「年度には金融環域する認識である良し大豆、瓶、製薬その他の間作「別以上、十二年度に六期以上、十三年度に六期以上、十三年

総語に不利の旅襲を及ぼすことが き不合理の監修く、延いては伝統

馬山の海祭り

五日まで延期

### 理研酒デビユ 馬山で醸造に着手 今年は二千石生産

船の供送送額派しは二十七日もま てゐた馬山の海鏡り各宗協和恵主

に頭回で職行出来ずかくては一般

も迷惑をかけることとて天候記

e 18

の肝油を製へよ』とは、近時内外の専門患者が最も憧れる腸結核の豫防には大量

『結核豫防に肝油がよい、就中、肺結核

家が唱導されるところであります。

結核の無限食叫療法を以て有名なるヘルマンスドルフ

エル、ザウエルブルツフ、ゲルマン氏等は『一日二十

肝油トマト父は密相汁療法の創始者スミス及びマウコ 五乃至五十グラムの肝油を連用せよ」と含ひ……

氏等は『毎食後十五グラムづく、一日四十五グ

ラムの大鼠を敷護乃至數ケ月連用せよ』と言ひ……

肝油は大量を服用するも、何等の有害作用を もたらすものに非ず、安易して連用すること

既報、東京即化度研究所「上域卅日間馬の復定で、理研治の

は、これが東大震弾を弾び北七二、粋された(私に軍跡以上の名が、同職が新正版)れも興進司後の上海線域機能に収出し、関に軍跡以上名も出土崇陣、側が表し、は同日後の個と報道、何色し、関に軍跡以上名も出土崇陣、側が表 

抱き合つて溺る 弟を助けんとして

哀れ幼き兄弟の死

忠北辭令

等する一粒肝油が出来ました。

れて、小豆大の一小粒が四グラムの肝油に租見され、且つこれを臍衣化する方法が發明さ

に高度のヴィタミンAを含有する天然品が發 との時に際し、聖魚肝油の如き微量の脂肪中 が結核その他の病原菌に對する抵抗力の強化

に緊要なことが質験的に唱導されて居ります

【清州】出内本町二丁川准寅原比。移原就記手聞きをしないでそのま

に右土地を峻與したもので司女は

始興事の計畫

「明と金田順氏を相手に登記を行 大船殿因なき無効のほにだとて沿

死人口なく 叔父の敗訴

は亡異柄曲に関する世版の代物版

▲ 死亡したのだと主張、本正はに

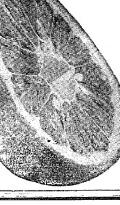
任道庭梁技手、向內務郡產業部

▲文蔚山 転務選長 二十七日大邱ため廿七日本北原州支扇來訪れが財刑部展川重長 新性複響の ▲森久道立場山崎院長 洋行中升 二月積池港、八月十三日間任の 豫定 人の過ぎ

> か十乃至十二粒の少量で足りる事になり 必要とする結核症でもハリバなら一日僅 服用で足り、一日四五十グラムの大量を 問題も快く一掃され、左表の通り微量の その結果、『肝油服用難』といふ多年の難

**嘘さくなく、胃腸に障らず、盛夏季でも** 





金垩弯、金尚淳、雅原浩、黄葵居、金字培、金墨香、金通青、金文植、 冢賃二圓七十錢の 十軒長屋を新築 さしあたり二棟ほど建てる

本田松天郎、朴墨動、朴天陽、田爲造、長谷川修一、喪延辱、田爲造、長谷川修一、喪延辱、

遊園地の自動車

通行禁止も出來ず

川署當局は苦慮

を考慮中であるが、なにしろ永い 右質師を際祭し自動心通行の脈退本鉱氏量の通り仁川智保安保でも

柳蕙馨、绮舫侧一人(未足)

事完成の曉は同通りは面目を一新で舗裝することになつたが、同工 適當な勾配に敗良、アスフアルト り既に且下路面の揺る中で路面は

咸南道當局

一家、野山、金海、野陽、統含等でしたが参加四は三千浦、『龍海、東

東事務談習資を開催 五日間黄調公曹校で面戦以農村振 京の一都では来る八月五日から 好評を博しつゝあります。 らくに連用し得、醫藥兩界から非常なる

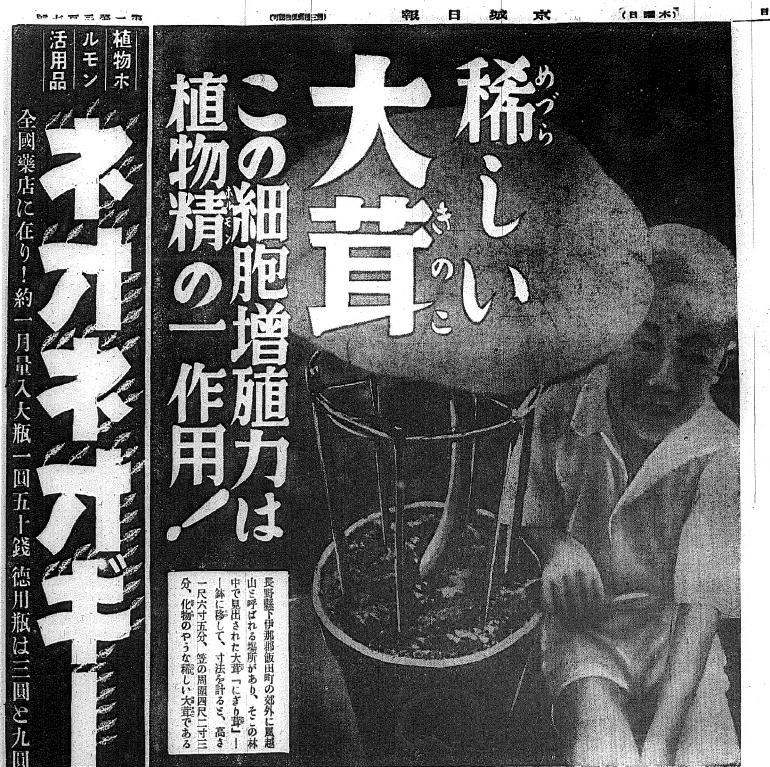
任」に東京日本韓国本町田海五三頭南京もて旬中蘇次島市生主。 任」に東京日本博士は小田子及び「町和トマトスは密利計等はの様と数する中村博士は小田子及び「町和トマトスは密利計等はの様と、 経済機関域に続ける肝・油の原 月』

赴

新育社・中門五十名 阪 デー (株) 大・一 (株) 大

店商

は「疾師海梁は來る九日ごろ潜工の瓊 は「疾師海梁は來る九日ごろ潜工の瓊 は「疾間」總經毀三十萬仙の敦世軍



NN1P-1560

## 夏マケする病弱者

文は、すべでありのままであつて大を常とする。しかしながら、本 一讀ありたい。 つたへる。讀者も、そのつもりで すこしも誇大味のない事實たけを ネオネオギーなる新發見品は名 **廣告文と言へば、こかく誇張誇** 

低廉である。 はるかに有効であり、且つ薬價も 記憶されて、これをのんだら、平 凡な廣告本位の薬品をのむよりも 如きを用ひる場合は、この名稱を 弱で、何か胃腸薬の類、滋養劑の 前が憶えにくひと言はれるが、病

食後に數錠

別記にある通り、信州飯田の山

る事は明白であって、植物ホルモ くり、かかる奇蹟を現はす。激に吸收力を増し急激に細胞をつ ひとかかへに肥大した。この細胞に發生した「にぎり草」は數日で 増殖力は、植物ホルモン作用に因 ンがはたらくど、植物の細胞は急

りで成長した細胞組織も、數夜で つくりあげた苦心品である。 入となし、 せしめ、活力を保ちたるまま、脱 授が協力し、植物ホルモンを凝集 **康思者でも、平氣でのめるやうに** ネオネオギーは、多般の大學教 野菜のやうな植物が半歳もかか ※ 劑粉劑で女子供薬物 外世た人は體重を増力する。

膓の强化は、すぐに自らわかる。 何病にキッなごは記さないが、胃 ら安心してのみついけられたい。 が、急速なる生理的回復であるか 病妄體の回復、すみやかなるには 家人隣人もみな感心する事がある うまく、両も豊富なる滋養質をも る場合が異なるのみである。 あって、唯だ 葛真のやうに ち、消化もよいご言ふ。 が急激にはたらいた場合と然らざ にぎり茸は、たべて松茸よりも 人體に、ネオネオギーを用ひて 植物ホルモンの作用 別に差異はないので

がすぐこなれるので、た んでみると、たべた食物 **め人が多** 消化力の ネオネ 多いが、一度、のつない點を知ら 腹をおぼえる。 オーの有する

に成長したにぎり茸の

本文に識がされたるネオネオギーは眺望したる大學教授の那志で、三百大十版人の大組一月很全工化によりて次弟に觀聴則復を無古るづから観定をなすわけ、何人も指題なり中込み御利用ありたと、全国製造にあるがネオネオギーなる層名にているのである故、充分無をつけて来められたし、暗記をある故、充分無をつけて来められたし、暗記をしている。

ら多食しても、絶對に胃 的の胃腸薬にくらべ、ネ腸障害を起さない。一時 せるのである。 體力も加り、元氣で過ご なる品である。この認識 のつく人は、夏でも肥り オネオギーは、 、オネオギーを用ひてか 購入に御注意 實に有効

本微生物研究

Ò

i i

血と肉を暗す

血球を示す

謝狀八千名

川會施設の改善

米國巡洋艦破損

B

【ロンドン廿八日同盟】大阪 英國又も豪華船

大陸省はスター汽船資配新選 次官ウイリアム・モリソン氏

メリカの変はワーランド氏をアド

・ は翻刈何によつては必ずしも耽眠、凝らく励暖なく健康し得るのでは
 ・ の養職が期待される、わがどいの「ムツく、ハンガリーに割しては「行急行第五八○列心より通明したの養職が期待される、わがどいの「ムツく、ハンガリーに割しては「行急行第五八○列心より通明と見られる助便の攻勢なスナーかに侵位にあるものであるが、ヨー不通となった京花線観察、線能観光幅路と見られる助便の攻勢なスナーかに侵位にあるものであるが、ヨー不通となった京花線観察、線能観光解と見られる助達の攻勢なスナーかに侵位にあるものであるが、ヨー不通となった京花線観察、線能観光解した。

▲生活調査──労働者生活状態、

獨逸と米南北、東洋諸國は我國を支持

けふ委員會の形勢や如何

系を披露し、社會研究開館者の発

る社會事業施設の根本となるべき

いま豆城府におけ

質財旅級が月脳の生活を解けてある階級面に集喰を約三萬人のカード る、さきに今井田戦務總監は全郎

機能は全然情無である

| 察は内地大都市においては早くか|| 内地和市を遊かに後ぎ住宅難の四|| 栗を鞍る風波の売丁を見た今日で

ものと見られてゐる

版本能石とも言ふべき間を機能の にも段勝な現状である、から資情 に極み京城府では社館建築施設の

都質の研究を備へついあるが、

内地方大都市に次ぐ

都能を彩る明曜二色のうち、

京城府が五年計畫で調査

在の機能を持たね形状である。將 〈生活者に別する教護施設は飾りばれる京城に来だ職員たる劉謨閣』はあるが、これら都質の要債を行

≪る日だ、土田北と鱧の假説

動者に脊膜し、生活困窮の動向を

ーチ號は八〇、三

し、ヘルシンキとロンドンはヨー

妹船 キングチョーデ號」の建

トンの世界一豪華船であるが

**豪華船クイン・メリー號の姉** 目下の形勢 は何れが慢 ロン・ホテルに訪問し、ヘルシン

なほぎリー號は八〇。七七四 一次ともいっないと言ふのが公平な キヘ投宗 て異れと頼んだのに別

東洋流域及びドイツの支持を納符 東京支持は ロサンゼルの経経である。東京は南北アメリカ して、ワーランド氏は

を称ひ合ふ事になり、その結果、一來ない、と歐路におつけて日本総ロッパ諸國、英國各自治館の投稿。とりを打つやらな不償な行為は出 を頼ひ合る事になり、その結果、 ス大館當時的東した事で、今期股

鍾路の裏街に盛

親少年スリ駅の片割れ、黄龍直生 ねたものか、またく | 脈車を腕ぎには目下網路裏で取調で中の廿五人 | されたが、スリの快味?を忘れか

京城の赤痢は激増

夜の家を取締

泥棒犯人らを助長

でゐた事實が賴明五名共間的した。を行ひ、不都合在ものは經史大節一搜を翻動ら。 邀がれしめ 各スリチビを一眠々な嚴重に内意

脳重脳分することになった

七月の傳染病二百五十餘人

皆さん用心第一の事

電車でスリ

**廿九日午後六時頃后城資金町六丁|病郷住難は廿八日まで既に二百五|人七河三分を示し、益々愛廷の郷|闘嶽を行ふため道衛生郷、所衛生 廿五人組の片別れ |京殿府における七月初司来の解築|十一人で、中赤銅処香は百八十三|ジフテリア、花柳橋茂原の具機的** 

鍾路署が一齊に內査を開始

除町散在し百條名の女が間に脂切

分開には常の形であるが、これを 園支持を表明した。在衛日本人は よ迫つた委員関決定の日は果して

我ホッケー 日毎に好調

突如何塔破裂、水兵一名即死、九名軍隊を出した、同艦は直ちにサ

ヘット號は二十八日間カリフォルニア神台で射撃流習中、

ッチャッに引つて急遽端離の途についた

【サンチャゴ廿八日同盟】アメリカ海軍の精戦オマへ続る巡洋殿

十名の死傷者を出す

る京城新学町二三七スリチビの主「銀路一帶には各職スリチビが六十一の世七名一味のチンビラ組をめぐ」でゐた郭智が判断五名共留版した 批報、銀絡音司法係で取調べてあ

品をとりあげた外型に彼等を常に 内房の一家にかくまひ、時折繁祭 被害を整人 の香を感はせてゐるが、夏枯れ時

北海の潮流調べに蒼鷹丸

後等時から近衛生派において赤駒 の離局系を見てのる。なほ卅日午 「姚合する の離局系を見てのる。なほ卅日午 「姚合する

人妻を連出して

としてはといふので像気像と魅力を始めているので、前記スリチビの如く金鉛のため級人をかくまか……な

京城端郷町六二金順徳氏生涯十歳一やるとて、十七日岐る男が連れ出

んは怪しいその男に誘拐されたもしたま、行方不明となり、順德さ

のと思ひ、探し廻つた掲句、仕九

日午後京城都築町附近でその男を

キング臨時増刊

誘拐團の一味か

電氣區も増員し係に昇格

東京なる(・ 物スゴイ大きげ・ 変も)二版大増制出來 変も一版大増引大作行うる ・ 第1大きまた他可大作行うる

観見、網路器で調べたら京城都集

中央線の建設に備ふ

宮際に昇松せしめ自動する模様で される複様である

たがるのださらな 間のからだに個分を補給する 必要がある。人間はこの総合 を多分に持つてゐる鯛を暗べ 科學者に言はする

土用丑 鰻を喰べる日

◆ 明新は扱きにして壁の脚 の日を當て込んである 聖、魚屋、鯉、鱧と街から街 ◆◆川長、江戸川、松金、町

のところ夏の味量玉熊浩の天 賣百日が一個といふ 温爽はけるを辞

町伊留所から園のラッシュアワー留証期から出た足で変変町入口階

本町岩ではなかくくお手腕の良い

カフェーの女給さん

させてもう思いこととをしないか

の財布をスリ取ったとを自供した一合はせてゐる を幸ひに電車の中で五国六十錢入 | ら働く處を探して下さい』と手を

四种自入质质和底基本企工工程。 分二大格人间等特别各种的第三人 介三人格人间等特别各种的第三人 介面给人间第每间间间时间间间间 唯自大间等自结项级第四间间间间位 重自大间等自结项级第四间间间位 多种此自主社,但首先有一个

加鹼讀本

9

とは倹約できない。を使つたって、月に五せん經濟だって、硬い安い石鹼

少しのことでヒフのため

19 本 終、器 へビクターレコードは

一町本城京

薄物はいけな 本町署からお布合

**\*** 

総さん選のサービスについて養婦。女網連の資資を考すので、本町等級更となつた昨今、カフェーで女。に汚れやすいので経療的にみても

ものがある、これは風転上掘た面一部した紙籠的た瀬切を着てサービスする「人郷がは着用させぬやらに建設を 當局は色々注意してゐるが、軽近一では各カフェー祭業時に、なるべ

桃屋の桃とびわの識

温麗

平南光成高普敗る

富貴屋 饭

眅

賣

蓝部

※ 京日案内

|夏!胃腸ノ危機來ル! 安川コロダイン!胃腸疾患征服ニ

京城府弘海町 京城 牧 堪秘关家に分誠す 大 生後六十日血統設育

京城本町

本町二丁目 本町ホテル人事係

女場仕入一条使用世内

り特に資通にて規或す金は即納の事但就養近報度名は一回毎に五十

ニテ販賣致シマス(カタログ進号」

I

械

経過」「西は一回先づ下門四球」「登成り、台田三退の後、中球・「登成り、台田三退の後、中村・華間に内野にファトを収ら下門三連、観く山口の左流で下門上連、観く山口のたが、アルル・スタートし、混金額線四球でスタートし、混金額線四球でスタートし、混金額線四球でスタートし、混金額線の11、造血組安打で二進 在顧 の三、遊側側 安打で二道 し、仁商 の三、遊側側 安打で二道 と、仁商 の三、遊側側 安打で 二 型の近落を快封した。 はしなく も最初から南瓜の打摩側は光形 で 巻ると思ばれた 金龍船 中等野球第二次豫選

645132879 (金属各県店ニアリ)



棚口面窗

**范本三八三海** 

仁 6451326程 第一下骨中山長佐建 9日前村口本廳





一純 泉郎郁城



田長古原 山島島部 主康賢 中桑大和 田楠安华山原平田 代義 五太 玉

村岡城 幸克胤 策鳴秀勝 優計夫一 報時 交外 入六八一五京東香撮・内ノ丸京東 雄夫・

新黎落居超段时三加十七面新黎落居超段时三加十七面

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

**雞無斷上演映窗** 

幾百萬の健康 見を育て 1 來た 輝やか

しい質績を持つ粉末母乳

ですわよっ兄との色々な話も、それ

より他ないつて、貴女のお父さま

|か未だ云ひ遊つてゐる雁子を尻目

龍山通りへ出ると、選子は、

に随を返しかけた。

同九時三〇分(東)時般・ニユ・大鼓権屋金太郎大鼓権屋金太郎

な工合に二人の方に近番つて来た

と、丁度その時些子を追ふやら

「只、有の個を貼して下すった丈

「お父さ生何と云つて?」

「あ、貴女が人来したのその掛ね、

低い本通りになってゐた。 通りすがりの人が、南手を衝際

「お兄さまでしよ?」と、館けた。一は云つてらしたけど… らに云つて、

「題んで美しい眉の邊りに心特版」「いゝえ。兄は何も云ひません

「それはそうよ。でも今更どうに

ですって、その前に一度兄に逢つ つてい」けど逢つてどうするつて 「……」困惑した配線のやり指に 「逢くつて云くば、それや逢つた 「兄は、近いらち交東京へ跳るの 一坂通りの解録合名と申しますと、 何方へ行くのでせらか?」 『あの一寸おがね致しますが、三

った。何か云はちと思ひながら急 施士は戸迷つて脳を被らめてしま ふことが解つてゐる丈、此の極度 に思いかしらと思ふ一方では、ど を頼みに来たのが非常にはしたな 于や、豊子の父親にこうしたこと 兄の間一部には内密でこつそり愛 に言葉になって出て来なかった。 是非共一度選手に造つて誰ひたか いことのやうに思はれもした。見 し代へれば選子が結婚しない前に 線音先生の新女大學(四) 同七時一分(東)朝の修養 福澤 同七時今日の天氣見込 午前六時(送)ラデオ服操 同六時三〇分(東)建成獨 三十日番組

常張信!

る曖昧を押へるやらに、その響を「てしまふと云ふことは、順寸にと「同葉存五分(東)吹奏樂 一、大「同四時 ニュース(須泉通歌・釜橋子はグッと胸に込み上げて来「子に逢ふことなく兄を東京(邸し」 毎頭値段 - 同三時四〇分(東)演象通歌 - 彼優勝斯様穴衛目 毎度ながら見事なる原田六段の駒の歴、無額の腕を誇るはここかと

日

を者た同じ年配の跛の娘を不思議 その字でに、井筒模様の黒い銘帳 の上にチラリと好奇の目を注いで 将せ坂の上を見詰めてゐる要子一わ」

一流争弱の戦論

我能して强いて微笑して、

息をしながら、でも苦しいのを

やつと愛手に混付いた爬子は部

)私だつて結構、人で解られー **『もう歌山。此處迄遂つて頂いた** 

銀步 香菜番 大股 ▼ **塚** 闘は四六歩迄の局面 (市川氏一回暦) 入目 銀柱歩四さ (13) 繰りには追がにと感順させられる

送れつて云ひつかつて来てるんで

やお父さまに可けないわ。貴女を

だけど、電車通りまで建らなる

經時間各九時間 消費時間 拴晁 ▼二時間11.33 33 步桂 ▽四十七世(66分) ▽五七九殿(66分) ▽五七九殿(66分) ○五七九殿(66分) 近飛(8分) が、日下の情勢では、七五歩と先 が、日下の情勢では、七五歩と先 が、日下の情勢では、七五歩と先 

感付いてゐた愛子は、故意に指け

気になった。

お父さまに逢ひに人張したつ

なあに?」滞々順丁の

ご言銘に施子は一寸折けないやう

まあー1 味もそつけもない空下

にさしかけて施工は黙つて最き出

低低くに前の方を見詰めては必

かと思はれたが、敢然四八角成の 行し遠ぎの懸念があつたのでどう 指し過ぎの懸念があつたのでどう 指し過ぎの懸念があつたのでどう 家田君が四七島と引いて二つの家田君が四七島と引いて二つの。 これに指し邀ぎのやうにも見回 これで越しでおけば最悪であらう 市川君の大七泉は総督動のものである。ここで八八玉では大八島

侵 金 易二郎

大事を取りすぎては却つて不利

曇つてゐるやうだつた。 るけれど、心なしかその目の色は

「お父さまがおごくなりになった

配

一、混響合唱「とこし

ふじの裾野に夕立のふる

野夕立―脳『―

二温唱

沈着過きる下手方塚田六段獨自の境

でで、此数迄でいくでしょうと つては堪へられなかつた。 適量の特分を含むため永く保存に耐へ 消化吸收極めて良し・賣行 全需要の七割を

占む

**赴會式株乳娘示森** 

心田 開發講話 午後六時二十二分 廿五年前の今月今日

はの御皇徳は一入辱く有喩く理せられるのであります。 弘 は、光明治郡の結晶で在らせられる人間はれます明治天泉 化、光明治郡の結晶で在らせられる人間はれます明治天泉 いまない。 御示し遊ばされました脳々の忠言を奉戴して國政へ本分を共はこの思出深き今日二十五年の昔を偲び奉り明治大帝の るべからざる原田院い日であります。私栽生を地獄上に享なく大正、昭和の訓代に初等政策以上を受けた郡妙年に記なく大正、昭和の訓代に初等政策以上を受けた郡妙年に記していた。 **都し奉りて卑愚に張ひ奉らむ事を御還削に黙ひ奉りたいと** くるもの、太陽の恩に浴せぬものはありませぬが、その太 朝鮮神宮を司 阿知和安彦 同八時 課外課監 (二) 山方〈Sエユース(朝鮮州・第 山方〈Sエユース(朝鮮州・第

第二放

吹奏樂

五、温靡ケストラ 管絃楽件奏 大阪ラデオオー 進ピアノ伊奏 杏 離作曲指卸 合唱『しきしまの』

同九時三五分 執対歌外

州一日き、物

同八時三〇分 額貨ラヂオ

かいして襲奏になる 山に鱧しの野性田

ドブ蜂…元酸酸

店藥。店品料食酒洋和…店賣贩

鎖夏飲料はこれです

桃谷河奈所より中郷――朔日新同磐時三五分(六)國民歌謠―― 同八時五〇分(東)雅 三、池帝(朗林)四、喻英二、正常樂念

民省樂部

同一〇時三〇分(東) 婦人の時間高島 米郷 探絶音先生の新女大學(五)

花型並に歌 故

白非福八 光 菊 リンピック派遣漢子無援歌「あ

木曜日)

伴奏 大阪音樂學校生能

那型並に歌 第集道に夢 鼓

京城) 全國中等風校優勝軒錄 京城) 全國中等風校優勝軒錄

同一時(東)水赤藤座(五)

同六時(六)音樂物語 骸骨の翻

策原曲に

(風) 長頭

除飲迎の夕歌迎の新に飲むの夕歌迎の新にない。

歌

同六時二〇分(東)コドモの新聞 京城第一高女四年 大坪 花枝 三、ピアノ劉娄 ソナタ 「第一京城が師範的小四年 竹内 孝子京城師範的小四年 竹内 孝子

・前居る醍醐者の複線は思はず市 ろ、市川阿及はこれをどう茂くめ含むに銀手は製物たるべきと供物はいまや中盤巡ぎ、必至の

| 一十五年前の今月今日 同七時 ニュース・天気見込・朧 同六時五五分(現)カレントトピ 朝鮮神宮々司 阿知和安彦

掘山六段は一路攻撃へ!断然四

ろっては担害が大き過

伸び行く日本の姿と心 三〇分(東)政治家の夕

三、さいれい

水石契久——组

唱

なご波風のたちさわぐらむ

一、伸び行く日本の今日と明日 立憲民政黨 山道 悪一 三、翻進の意義と明日 昭和會 內田 安部

んとする<br />
日本の<br />
進

三味線 治天皇御製謹唱 午後八時三十五分一

もの海みなはらからミ思ふ世に 一、よものうみ(明道三十七年) ししへに民やすかれといのるなる がよをまもれ伊勢のおほかみ 、とこしへに、毎年平四年 正述心緒——四 唱—

ゞやきし入日のかげもきえはて」 しきしまの(関連三十七年) かいやきし、倒想子先生 の磁とならむ末までも いしの。前道王三郎 人思想となりつくある際じが致しば著名華美に流れ西洋かぶれの個

鈴の川の水はにごらじ

答案 聯合壓烈參斯長 腹髮

同八時四〇分(東)フランツ・リ 同八時三〇分 静吟 松井 清水 倉瀬音樂外 へト五十年祭記念 軍大なる役割を持つてゐるかを逾

諸氏もをりくる強を設けて國を ねばならぬ時に當り今日動もすれ 治める一助としたのであります、 代で、吹いで艇田、豊臣、徳川の **お師の茶能の盛に起りしは足利時** 「簡素して居るのであります、こ

茶道について (奏) (樂)

午後零時五分

一逝曲である。曲は『聖騎士の莊厳 ベット、日つのソロトロンベット なる人場」の信めに十二のトロン 太鼓に對して二十大の聲部で書か 二、香誌『黄音』

と競しましてはこれで千分職総せ「きが美しく」何人をも囁く駆動さ「荷的急は傾年歌山傅陵にて行はせが打込まれてありまして我々<table-cell>成成」ス際に『特徴鋭く総律で協議に難「娯楽する急は早八拍子の曲なり。の差道には日本精神なり武士精神「れたものである。所はシュトラウー序、破・急の三章を具備し、此度 **柔道に資と所が多いのであります | のうちに素朴さと、童心のなつか** |しさをもつ夕息の山と空を鑑いた | 平安朝に於て風流好事の士の間に のを吹奏器に編曲したもので寂寥 此の曲は曹統振曲として作つたも 三、他帝(阿林)

**治ふ明治天泉気の供償業として湊** 

ます。そこで日本指導の商表には

有名な悪田を奴革し接近したもの一ひつべし、神治は 三、神聖なる幻想曲

で、重々しい、隆楽な和整、旺盛一其の歌詞は 雅 四、輸放補脫 他分於無三次夏 常運に向へる詩文朗讃の古姫と翻鑑行せし所なり、即も極近流行の

し、文語の太宗の作なりとも供ふ一に難の腱昭能の道聲なりとも確 宮內省雅樂部 脚を好きせ続ひ、しばしば路霊亭級なり。※明天泉特に輸設維度の 記コンタール」の 部選曲なり 手度「推案を表調とせる音粒美作 職装部より公券を改支せる昭和十 近侍の諸卿をして之を墓せしめ給 にて供御を召させ給ふにあたり、 へりと云ふ。 図に記曲は先股武部

北非門司 阪神 連路 国大阪商船縣出帆 連絡慢秀谷脂 

雄基、城津、典亩一 高于地丸 八月十三日 門司廷隆航行 例或世年 門司鼓匠午 例如此日初

博多、後崎、鹿児島、基 英 丸 八月四 日 東京 八月二日 中日 二日 九 八月二日 中日 二日 大 阪 所 紙 村 張 所 九 八月二日 中日 二日 大 阪 所 紙 村 張 所 木 城 日 歌 (18 年) 一 次 東 城 日 歌 (18 年) 日 一 次 東 京 (18 年) 日 一 元 

於弘風有一聲秋 側泳の一にして 本 店 京城府南大門通十丁目十四番地 漢 城

出張历[



電話本局(2)二一六一番

國際運輸會社